

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

令和 7 (2025) 年 度

秋季・春季

大学院学生募集要項

博士前期課程
博士後期課程

文 学 研 究 科

法 学 研 究 科

経 済 学 研 究 科

國學院大學大学院

やむを得ず入学試験日程・出願要件・試験内容等を変更する場合があります。
最新の情報は、大学ホームページにてお知らせしますので、必ず出願前にご確認ください。

目 次

1. 本大学院の目的	1
2. 入学定員と収容定員	1
3. 本大学院のポリシー	2
4. 入学試験日程	6
出願	
試験日	
合格発表	
手続期間	
5. 博士前期課程 出願資格・出願条件・選考方法	8
①文学研究科	
②法学研究科	
③経済学研究科	
6. 博士後期課程 出願資格・出願条件・選考方法	15
①文学研究科	
②法学研究科	
③経済学研究科	
7. 各入試共通事項	17
博士前期課程出願書類一覧	17
博士後期課程出願書類一覧	18
入試コード一覧	19
出願・受験上の注意	20
入学検定料と納入方法	20
入学手続	21
学位授与までの流れ	22
学部3年生の法学研究科入学試験合格後の選択肢	22
学費等納付金	23
奨学金制度	23
入学辞退による学費等の返還	23
大学院入学試験実施状況	24
8. 授業科目と担当教員	26
前期課程	26
後期課程	40
9. 出願書類	
所定用紙①～⑬	

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程（<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>）に従い、適切に管理します。

利 用 目 的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内書類の送付
デ ー タ 項 目	(1) 入学志願票・口述調査書に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、国籍、受験番号、生年月日、出身学校名、志願する入試制度、志望研究科専攻・コース、職歴、研究歴、授与・単位取得資格、就業状況、保証人、保証人関連情報、出身大学の成績の状況、検定・試験の成績、写真 (2) 成績証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学修成績の状況、評価、検定・試験の成績および受検年月日・受験番号・個人番号
保 管 期 間	合格者：5年 不合格者：1年

國學院大學における個人情報の利用目的については下記のURLを参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. 本大学院の目的

本大学院は神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。

沿 革

(修)は修士課程、(博)は博士課程の略

昭和26年(1951年)	文学研究科……………神道学専攻(修)・日本文学専攻(修)
昭和27年(1952年)	文学研究科……………日本史学専攻(修)
昭和28年(1953年)	文学研究科……………日本文学専攻(博)・日本史学専攻(博)
昭和33年(1958年)	文学研究科……………神道学専攻(博)
昭和42年(1967年)	法学研究科……………法律学専攻(修)
昭和44年(1969年)	法学研究科……………法律学専攻(博)
昭和43年(1968年)	経済学研究科……………経済学専攻(修)
昭和45年(1970年)	経済学研究科……………経済学専攻(博)
昭和50年(1975年)	各研究科(専攻)とも修士課程を博士前期課程に、 博士課程を博士後期課程にそれぞれ改称
平成18年(2006年)	文学研究科「日本史学専攻」を「史学専攻」に名称変更
平成19年(2007年)	文学研究科「日本文学専攻」を「文学専攻」に名称変更
平成20年(2008年)	文学研究科「神道学専攻」を「神道学・宗教学専攻」に名称変更

2. 入学定員と収容定員

研究科名	専攻名	前期課程		後期課程		総収容 定 員
		修業年限 2 年		修業年限 3 年		
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文 学 研究科	神道学・宗教学専攻	20	40	4	12	52
	文 学 専 攻	30	60	10	30	90
	史 学 専 攻	40	80	10	30	110
	計	90	180	24	72	252
法 学 研究科	法 律 学 専 攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
経済学 研究科	経 済 学 専 攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
合 計		110	220	34	102	322

3. 本大学院のポリシー

○大学院基本研究教育方針〔大学院憲章〕

- ・学統の継承・発展と創新

本学学術資産への理解を基に、学統の継承・発展そして新たな創造を企図する。

- ・研究倫理確立を通じた人格の陶冶

研究倫理・法令の遵守・人権の保護を徹底し、それらを基盤とする人格の陶冶に努める。

- ・研究能力の飽くなき向上

創新・企画・協調・遂行の資質の涵養によって、国際化に対応する研究能力の向上を図る。

- ・学知の拡大と連携

関連領域のない学問は存在しない。よって学知の拡大を企図し、より高度な専門知識の獲得の上に、多様で柔軟な隣接領域への学知の拡大を推進する。

- ・研究成果の発信と社会還元

学習成果の可視化、研究成果の発信を積極的に推進する。

○國學院大學大学院—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

- ・國學院大學大学院の教育研究上の目的

本大学院は、法令の遵守・人権の保護を徹底して研究倫理を確立し、教学を通じて人格の陶冶に努める。それを基盤として、神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。

- ・國學院大學大学院の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

- 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得し、専門的知識を自らのものとするとともに、主体的に研究課題を定め、これに関する諸研究の検討を行い、新たな知見を加えた修士論文あるいは特定の課題についての研究成果を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得するとともに、その分野の研究動向を理解した上で、独自の見解を含む博士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、その分野で継続的な研究が行い得ると認定された者に、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。

- 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

大学院の設置目的を実現するために文学、法学、経済学の3研究科を置き、大学院学生が、学知を主体的に選択して、自己の研究に取り組む能力を涵養し、研究指導・方法の多様性と、自己の意志に基づく自由な選択を保証することを方針として教育課程を編成する。この方針に基づいて、全研究科を通じて開講科目を全セメスター化とし、博士前期課程と博士後期課程とを一貫させた教育課程として設ける。また、各研究科ごとに演習、論文指導演習、研究指導、専門講義科目あるいはコースワーク科目、アカデミック・ライティングなどを設置するとともに、複数の教員による指導制を確立する。

- 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

大学院ならびに各研究科設置の目的と合致する、積極的な目的意識や志向性を有するとともに、研究科での学修ならびに研究に必要な基礎的な知識や能力などを備えていることを受入れ方針としている。また、学士課程（学部）修了者を対象とする一般入学に加え、学士課程（学部）において優秀な成績を修めている者の大学院への飛び入学や推薦入学、さまざまな経験を有する社会人や外国人を対象とする入学選抜など、多様な入学制度を設けることで、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大をはかることを方針としている。

○文学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

- ・文学研究科の教育研究上の目的

文学研究科は、日本文化の真髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与することができる、優れた研究者及び専門的な業務に従事する者を養成することを目的とする。

神道学・宗教学専攻

日本古来の伝統宗教である神道を中心とする日本の伝統文化に関して、歴史的思想神学的な理解を深め、内外の諸宗教及びそれに関連する宗教文化の意義と役割を比較研究し、幅広い人材を養成すること。

文学専攻

文化・文学・言語に関する高度な研究の深化・発展を図り、その能力を有する研究者、及び豊かな学識と高度な教育能力をもつ教育者を養成し、専門的な業務に従事する社会人を再教育すること。

史学専攻

国内外の歴史学・考古学・地理学・博物館学及び美学美術史の幅広い分野に関し研究の深化・発展を図り、各種研究教育機関で研究教育に携わる優れた人材を育成すること、併せて社会人を積極的に受け入れ、幅広い人材を養成すること。

・文学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻において編成されている教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す学位を授与する。

また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。

神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、修士（神道学）または修士（宗教学）の学位をそれぞれ授与する。

博士後期課程においては、神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、博士（神道学）または博士（宗教学）の学位をそれぞれ授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、博士（神道学）または博士（宗教学）の学位を授与する。

文学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては修士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、修士（文学）または修士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

博士後期課程においては、文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、博士（文学）または博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、博士（文学）または博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

史学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、修士（歴史学）の学位を授与する。

博士後期課程においては、史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、博士（歴史学）の学位を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、博士（歴史学）の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻内に専門分野に基づいたコースを設けることによって、学生の研究に資することを方針としている。

神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課するとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資史料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力

を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

文学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、日本文学（高度国語教育含む）、日本語学、伝承文学、中国文学、日本語教育の各コースにおいて、横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、各コースごとに複数の指導教員による資史料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、各コースごとに複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

史学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資史料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学研究科の設置目的である「日本文化の神髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与」したいという目的意識や志向性を有する者を対象とする。

神道学・宗教学専攻

神道学・宗教学専攻においては、その資質として、神道文化をはじめ国内外の宗教文化に関する幅広い知識と具体的な研究課題をもち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士課程前期においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

文学専攻

文学専攻においては、その資質として、日本文学、日本語学、中国文学、伝承文学、高度国語・日本語教育の各コースに関する幅広い知識と具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人留学生を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

史学専攻

史学専攻においては、日本史学および歴史地理学・外国史学・考古学・博物館学・美学美術史の各コースに関する幅広い知識と高い研究意欲ならびに具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えている入学者を受け入れる。

博士前期課程では、学部教育において幅広い教養と基礎的な専門教育を修得し、さらなる専門的研究をおこなう意欲と知識・技能を備えた入学者を受け入れる。

博士後期課程においては、すぐれた研究論文を提出して修士学位を修得し、専門領域において独自の研究計画に基づく研究を継続する意欲とそれを遂行するに足る能力と技能を備え、所定の修業年限内に博士論文を提出して博士学位を得ようとする目的を持った入学者を受け入れる。また、それと同等の学力と強い研究意欲をもち、博士学位授与に相応しい研究業績を有する者を受け入れる。

○法学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・法学研究科の教育研究上の目的

法学研究科は、学部教育を基礎とし、法学及び政治学に関する、専門的分析能力を用いて先端的問題を総合的に分析・判断し社会的諸問題の解決に貢献する者、及び専攻分野に関し独創的研究を行い指導する能力をもつ研究者を養うことを目的とする。

・法学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を踏まえ、法学または政治学についての高度な専門知識を十分に自らのものとし、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を示す成果をあげた者に対し、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で修得した高度な専門知識と主体的で独自の姿勢に加えて、自らの研究成果を纏めるための研究計画を立案し、着実に実行することができ、かつ、実行のために必要とされる資料収集、読解能力、語学力及び情報処理技術などを身につけ、今後、専攻分野において独創的研究を継続的にを行い、後進を指導する能力を身につけたことを示す成果をあげた者に対し、博士の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、学生が専門知識を修得し、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。加えて、関連諸領域における法的・政治的な諸問題についても専門知識を修得できるように、指導教員以外が担当する授業科目を開設する。

博士後期課程においては、学生が専攻分野に関するより高度な専門知識を修得し、より独創的かつ自立的な研究活動に必要とされる高度な専門的技術を含めた研究能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。

なお、新たに生起する問題や先進的な研究動向に応じた学修の機会を確保するために、特殊研究（演習）を開設する。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育に基づいて、価値観と利害関係が多様化する現代社会に生起する諸問題を法学または政治学の観点から総合的に分析・判断し、それらの解決に主体的に関わりうとする積極的な姿勢を持つ者を受け入れる。とりわけ、社会人としての経験を踏まえて具体的な研究課題を見いだしている者を受け入れる。

博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、加えて専門領域においてさらなる独自の研究計画に基づき継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

○経済学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・経済学研究科の教育研究上の目的

経済学研究科は、学部教育を基礎とし、経済及び経済学に関する、専門的知識と能力をもつ職業人、及び豊かな学識と創造的な研究能力をもつ研究者を育成することを目的とする。

・経済学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見を踏まえ、経済学、経営学、会計学または税務に関わる専門分野について十分な学力があると認定された者に対して、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で求められた最先端の専門的知識に加えて、理論的革新や新しい知見の発見などの独創的研究を行い、今後、専攻分野において研究・教育する能力を身につけたことを示すことができる成果をあげた者に対して、博士の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、指導教員が担当する授業科目および論文指導を通じて、自己の専門領域における専門的知識を学ぶことと並行し、自己の専門領域の関連諸領域について授業科目の履修を通して学ぶこと。さらにアカデミック・コース、キャリア・コースの各コースを選択した者は、当該コースの選択必修科目から所定の単位数の科目を修得すること。

博士後期課程においては、指導教員が担当・指定する授業科目を修得するとともに、指導教員のもとで研究指導を受けること。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程、博士後期課程ともに、本学の建学の精神、そして本研究科が定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解して、以下の資質・志向をもった者を受け入れる。

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見に基づいて、以下いずれかの志向を持った者を受け入れる。

- (1) アカデミック・コースでは、博士後期課程への進学を目指す者や、博士前期課程修了後に専門的で深い学識を必要とする職種を目指す者。
- (2) キャリア・コースでは、博士前期課程を修了し、税理士などの資格取得を目指す者。

博士後期課程においては、博士前期課程における経済と経済学に関する専門的知見に基づいて、博士の学位を取得し、課程修了後は研究職を目指す者。

4. 入学試験日程

秋 季 試 験

研究科		区 分	専 攻	募集人員	願書受付期間	書類選考 結果発送	試 験 日	合否発表 (発送日)	手続期間
文 学	前期	一 般	神道学・宗教学	10名	令和6年 8月26日(月) ゝ 9月6日(金)	9月25日(水) *書類選考の不合格 者は口述試験なし	10月5日(土) (口述試験)	10月15日(火)	【一次手続】 令和6年 10月18日(金) ゝ 10月25日(金)
			文 学	15名					
			史 学	20名					
		外国人	神道学・宗教学	若干名					
			文 学	若干名					
			史 学	若干名					
	後期	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名					
			文 学	若干名					
			史 学	若干名					
		社会人	神道学・宗教学	若干名					
			文 学	若干名					
			史 学	若干名					
学 後 期	一 般	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
		史 学	若干名						
	外国人	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
		史 学	若干名						
	社会人	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
史 学		若干名							
法 学	前期	一 般	5 名	令和6年 8月26日(月) ゝ 9月6日(金)		9月20日(金)	9月27日(金)	【一次手続】 令和6年 10月4日(金) ゝ 10月11日(金)	
		外国人	若干名						
		学内論文選考	若干名						
		学内成績選考	若干名						
	後期	社会人	若干名			9月20日(金)	9月27日(金)	【二次手続】 令和7年 2月25日(火) ゝ 3月4日(火)	
		一 般	5 名						
		外国人	若干名						
		学内論文選考	若干名						
経 済 学	前期	一 般	5 名	令和6年 8月26日(月) ゝ 9月6日(金)		9月20日(金)	9月27日(金)	【二次手続】 令和7年 2月28日(金) ゝ 3月5日(水)	
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						
		学内推薦	若干名						

出願受付場所 ■ 大学院事務課（渋谷キャンパス）。

出願受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（土日・祝日を除く）。

合 否 発 表 ■ 郵送（合否）およびWEB掲示（合格者の受験番号）。電話・メール等による問い合わせには応じられません。

入学手続受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（日曜・祝日を除く）。

※「納付書」による支払手続きは、土日・祝日を除き金融機関の窓口が開いた日時に行ってください。

※出願書類・入学手続書類を郵送の場合「速達簡易書留」または「レターパックプラス（赤）」とし、各締切日の前日までの消印を有効とする。

春季試験

研究科		区 分	専 攻	募集人員	願書受付期間	書類選考 結果発送	試 験 日	合否発表 (発送日)	手続期間
文学部	前期	一 般	神道学・宗教学	7 名	令和 7 年 1 月 7 日 (火) ゝ 1 月 14 日 (火)	1 月 30 日 (木) * 書類選考の不合格 者は口述試験なし	2 月 13 日 (木) (口述試験)	2 月 19 日 (水)	令和 7 年 2 月 25 日 (火) ゝ 3 月 4 日 (火)
			文 学	9 名					
			史 学	9 名					
		外国人	神道学・宗教学	若干名					
			文 学	若干名					
			史 学	若干名					
	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
		史 学	若干名						
	後期	社会人	神道学・宗教学	若干名					
			文 学	若干名					
			史 学	若干名					
一 般		神道学・宗教学	3 名						
		文 学	8 名						
		史 学	8 名						
後期	外国人	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
		史 学	若干名						
	社会人	神道学・宗教学	若干名						
		文 学	若干名						
		史 学	若干名						
法学部	前期	一 般	法 律 学	5 名	令和 7 年 1 月 15 日 (水) ゝ 1 月 22 日 (水) * 共通テスト 1/18 (土) 除く		2 月 22 日 (土)	2 月 26 日 (水)	令和 7 年 2 月 28 日 (金) ゝ 3 月 5 日 (水)
		学内論文選考		若干名					
		学内成績選考		若干名					
		外国人		若干名					
	後期	社会人	若干名						
		一 般	5 名						
経済学部	前期	外国人	経 済 学	若干名	令和 7 年 1 月 15 日 (水) ゝ 1 月 22 日 (水) * 共通テスト 1/18 (土) 除く		2 月 22 日 (土)	2 月 26 日 (水)	令和 7 年 2 月 28 日 (金) ゝ 3 月 5 日 (水)
		社会人		若干名					
		学内推薦		若干名					
		一 般		5 名					
	後期	外国人		若干名					
		社会人		若干名					

出願受付場所 ■ 大学院事務課（渋谷キャンパス）。

出願受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（日曜・祝日、1月18日(土)を除く）。

合 否 発 表 ■ 郵送（合否）およびWEB掲示（合格者の受験番号）。電話・メール等による問い合わせには応じられません。

入学手続受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（日曜・祝日を除く）。

※「納付書」による支払手続きは、土日・祝日を除き金融機関の窓口が開いた日時に行ってください。

※出願書類・入学手続書類を郵送の場合「速達簡易書留」または「レターパックプラス（赤）」とし、各締切日の前日までの消印を有効とする。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、
出願開始日の30日前までに、必ず大学院事務課（03-5466-0142）に連絡してください。

5. 博士前期課程

出願資格

以下（１）～（８）のいずれかの要件を満たす者（出願年度３月末日までにその見込みのある者も含む。）

- （１） 学士の学位を有する者。
- （２） 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより、当該外国の学校における16年の課程を修了した者。
- （３） 日本国内において、文部科学大臣が別に指定する外国の大学の課程（当該外国の学校教育制度に位置付けられた教育施設の課程であって、その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を修了した者。
- （４） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- （５） 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
- （６） 文部科学大臣の指定した者。
- （７） 本大学院が、大学に３年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。
- （８） 本大学院において、個別の入学資格審査（下記参照）により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。

入学資格審査：学士の学位を有しない等上記(8)における個別の入学資格審査は、以下の要領で実施する。

	書類提出期間	実施日
秋季	令和6(2024)年6月29日(土)～7月12日(金)	令和6(2024)年7月24日(水)
春季	令和6(2024)年12月7日(土)～12月13日(金)	令和7(2025)年1月7日(火)

■出願受付場所：大学院事務課窓口（渋谷キャンパス）

■出願受付時間：9：00～12：50、13：50～16：00（日曜・祝日を除く）

■審査料及び出願書類

- ①審査料：10,000円 ※証明書自動発行機（渋谷キャンパス若木タワー1・2階）で証紙を購入してください。
 - ②入学資格審査調査書（本学所定用紙⑩）※ダウンロード可
 - ③卒業証明書（出身大学学部のもの）※コピー不可
 - ④成績証明書（出身大学学部のもの）※コピー不可
 - ⑤日本語能力試験N1の合格証明、或いは日本留学試験日本語の成績（260点以上）証明を提出すること（外国籍の者のみ）。
 - ⑥返信用封筒（宛名記載、長3サイズ）
 - ⑦パスポート及び在留カードのコピー（外国籍の者のみ）
- *③・④は、原則、出願の3か月以内に発行されたものに限る。外国語の証明書には日本語訳（形式は問わない）を添付すること。ただし、海外大学等で3か月以内の発行が難しい場合は、事前に大学院事務課へ相談すること。

経済学研究科の入学資格審査を希望する、「外国の大学を卒業し、学士の学位を有していない」者は、追加で以下2点の書類を提出すること。

- ⑧自らが出身大学に提出した卒業論文または同様の趣旨の論文(thesis)。英語または日本語以外の言語で執筆されている場合は、日本語または英語の翻訳を付すこと(全文)。オリジナルのものに加筆修正を加えてはならない。卒業論文を執筆していない場合は、卒業した大学で学んだことをまとめた論文を作成し提出すること（日本語で執筆し、A4サイズ横書きワープロ使用、図表や脚注も含めて12,000字以上とする。なお、本形式や字数は國學院大學経済学部における卒業論文に準じている）。
 - ⑨自らの大学で学んだことと、國學院大學大学院経済学研究科で研究したい研究テーマとの関連性をまとめた小論文(essay)。日本語で執筆し、A4横書きワープロ使用、4,000字以上とする。
- 上記2点について、これから論文および小論文を作成する場合、ひょう窃をはじめとする不正な行為が発覚した場合、合格を取り消すこともあるので、重々承知の上で作成すること。

出願条件

文学研究科

【博士前期課程】

●入試制度別出願条件

博士前期課程出願資格を満たしている者は、以下いずれかの入試を受験することができる。

入試制度（専攻）		出願対象及び出願条件
A 一般入試		博士前期課程出願資格を満たしている者。
B 外国人入試		外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者。 日本語能力試験N1合格、或いは日本留学試験日本語の成績260点以上。 ※日本国内の大学或いは大学院を卒業した場合、一般入試を受験してください。
C 社会人入試		入学時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者。 ①学士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者。 ②学士の学位取得後5年以上の者。
D 学内成績選考入試	神道学・宗教学専攻	対象：全学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが、神道文化学部は2.8以上、他学部は3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者。
	文学専攻	対象：文学部・神道文化学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文または演習・ゼミ論文提出者。
	史学専攻	対象：文学部・神道文化学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者。

※GPA値について、本学基準と異なる場合は、下記のとおり、本学基準に換算して評価する。

◆GPA値の換算について

基準点	合否	QPI
100～90	合格	4.0
89～80		3.0
79～70		2.0
69～60		1.0
59～0	不合格	0.0

GPA値は、登録科目の単位数と成績評価ごとに定められたQPI（Quality Point Index）を用い、登録した各科目の単位数にQPIを乗じたものの合計を、登録した科目の単位数の合計で割ることで求められる。

$$\text{GPA計算式} = \frac{(\text{GPA対象科目のQPI} \times \text{単位数}) \text{の総和}}{\text{GPA対象科目の単位数合計}}$$

※卒業要件単位に含まれない科目は、GPAの算出対象外。

選考方法

文学研究科

●全入試制度において「書類選考」及び「口述試験」により選考

※口述試験は対面で実施します。実施要領・実施時間は、書類選考結果通知に同封します。

一般入試、外国人入試、社会人入試の課題一覧

※提出書類については、「出願書類一覧（P.17）」でご確認のうえ、漏れがないように提出してください。

神道学・宗教学専攻課題一覧（秋季・春季共通）

コース・分野	課題及び作成要領	字数	書式他
・神道学 ・宗教学	・自分が大学院博士課程前期（または後期課程）で遂行したい研究について文章で説明してください。 ・作成にあたっては、1行目に研究テーマを、2行目に氏名をそれぞれ記し、3行目から本文を記述してください。 ・本文では、研究テーマについて、①研究の目的、②神道学（神道研究）または宗教学（宗教研究）における先行研究の概況および自らの研究の位置づけ・独自性など、③研究の構想と具体的な方法（フィールドワークや史資料の分析など）や研究計画、④予想される研究成果やその後の展望などについて明確に記述してください。 ・記述にあたっては適宜段落に分け、それぞれに見出しをつけてください。	3,000～4,000字程度	A4横書・32字×25行 14ポイントを基本とする。

文学専攻課題一覧（秋季・春季共通）

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
日本文学	各自の専攻分野の中から一つの作品を取り上げ、通時的展開（前後の作品を含めた文学史的な流れ）および共時的関係（同時代の隣接ジャンルや時代背景）を踏まえて、その特質について説明しなさい。	4,000字程度	A4横書・32字×25行 14ポイントを基本とする。
日本語学	関心のある論文を1つ挙げて、内容の紹介および批評をしなさい。	4,000字程度	
中国文学	あなたが研究しようとするテーマの研究史について、具体的な論文・著作およびその内容を踏まえて論述しなさい。	4,000字程度	
伝承文学	柳田國男の『郷土生活の研究法』について、民俗学史上の位置づけを説明しなさい。	4,000字程度	
高度国語教育	あなたの研究課題について国語教育学における意義を論述しなさい（想定する学習者・目標・具体的な学習活動・学習材等の観点を必要に応じてふまえること）。	4,000字程度	
高度日本語教育	国内または海外の日本語教育の内容・状況（または歴史）について、関心のある事柄・事例をあげ、それについて略述するとともに、どうして／どのような関心をもつのかを述べなさい。その際、関係する書物か論文1～2篇をあげ、その内容に触れること。また、できるだけ、自身の研究したい研究テーマと関連づけて述べること。	4,000字程度	

史学専攻課題一覧（秋季・春季共通）

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
全コース	・冒頭に研究テーマを記し、次の行に氏名を記し、1行開けて本文を書いてください。本文は節を3以上設定し、それぞれの節に番号を付け、題名を付けてください。 ・研究の目的、研究の構想と方法、使用する資料、研究の計画、予想される研究成果と展望などを記してください。	3,000～4,000字程度	A4横書・32字×25行 14ポイントを基本とする。

選考方法

法 学 研 究 科

法学研究科【博士前期課程】研究コース・公務員養成コース

出願に当たっての注意事項

- ①研究コースと公務員養成コースのいずれかを選択すること。
- ②研究コース・公務員養成コース共に、別表1左欄に掲げる専門科目から自分が専攻する科目を一つ選択すること（別表1左欄に掲げていない専門科目については、募集を実施しない）。
- ③指導を希望する教員がいる場合には、別表1右欄から選び、研究計画書に記入すること（指導教員の決定に際しては、受験生の研究計画の他、指導教員の専門領域・指導の負担等を考慮するため、希望とは異なる教員が指導教員となることもある）。

飛び入学制度・3年次入試先取り履修制度について

研究コース・公務員養成コース共に、一般・学内成績選考・学内論文選考入試では、3年次在学中に合格した者が、3年次終了後卒業を経ずに直ちに大学院に入学できる「飛び入学制度」と、一年間入学を保留するとともに学部4年在学中に法学研究科の授業を履修し翌年4月に入学後に履修済み単位として認定される「3年次入試先取り履修制度」（10単位まで）を利用することができる（P.22「学部3年生の法学研究科入学試験合格後の選択肢」の図を参照）。

●一般入試 「筆記試験」(2科目)、「口述試験」 [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

3年次在学者の受験資格について

出願時に大学の3年次に在学している者は、2年次終了までに76単位以上を修得していること。

筆 記 試 験	口述試験※2
9:30~11:30	13:00~
①希望する専攻分野の専門科目（必須） ②外国語または専門科目（選択）のいずれかを選択 [外国語] 英語・独語・仏語のうち1科目（ただし母国語は選択不可）。 英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可。法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。 [専門科目（選択）] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験について、開始時間が前後することがある。

●外国人入試 「筆記試験」(2科目)、「口述試験」

筆 記 試 験	口述試験※2
9:30~11:30	13:00~
①希望する専攻分野の専門科目（必須） ②外国語または専門科目（選択）のいずれかを選択 [外国語] 日本語・英語・独語・仏語のうち1科目。 日本語の辞書は不可、英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可。法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。 [専門科目（選択）] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験について、開始時間が前後することがある。

【別表1】

専門科目	受験必須科目	指導教員
法律部門		
外国法	外国法	捧 剛
日本法制史	日本法制史	長又 高夫
憲法	憲法	植村 勝慶
		福岡 英明
		平地 秀哉
行政法	行政法	高橋 信行
		川合 敏樹
国際法	国際法	宮内 靖彦
刑法	刑法	甘利 航司
		高内 寿夫
刑事訴訟法	刑事訴訟法	中川 孝博
民法	民法	一木 孝之

専門科目	受験必須科目	指導教員
民法	民法	佐藤 秀勝
		岡田 康夫
		廣瀬 美佳
商法	商法	鈴木 達次
		森川 隆
		中曽根玲子
民事訴訟法	民事訴訟法	佐古田真紀子
労働法	労働法	本久 洋一
政治部門		
日本政治史	日本政治史	坂本 一登
西洋政治思想史	西洋政治思想史	菊田 真司
政治学	政治学	藤嶋 亮
行政学	行政学	稲垣 浩

注意 令和6年5月現在の状況に基づいている。最終的な募集の有無は本学ホームページで確認してください。

●社会人入試 「書類審査」、「小論文」、「口述試験」

受験資格	選 考		
	書類審査	9:30～11:30	13:00～
大学卒業者または卒業見込み者で、以下①～③のいずれかの条件を満たす者 ①入学予定時において就職している者（4月からの就職内定者と家事に専業している者を含む） ②10年以上の社会的実務経験がある者 ③社会人入試で学部に入学者	「研究計画書」 ※記入にあたっては、以下の点について留意すること。 ①「研究の目的」あなたの研究によって何を明らかにするのかを明確にすること。 ②「研究の特色」自らの社会的実務経験と研究課題との関連について明確にすること。 ③「研究の概要」希望する研究の内容と手順・手法について現時点において考えていることを具体的に明らかにすること。	「出願時に各自から提出された研究計画書にもとづく小論文」 (1,500字～2,000字)	口述試験

●学内成績選考入試 「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00～) [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格 出願時に國學院大學の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、K-SMAPY IIの成績照会に記載された累積GPAが2.0以上、かつ次の修得単位数を満たす者。

〈3年次在学者〉※春季のみ募集

卒業見込みであるか否かにかかわらず、3年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

〈4年次在学者〉※秋季・春季とも募集

秋季入試で受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上であること。

春季入試で受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

●学内論文選考入試 「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00～) [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格 出願時に國學院大學の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、出願期間までに次の〈論文〉を完成し、下記の修得単位数を満たす者。

〈論文〉法学・政治学に関連する論文（卒業論文や演習論文を含む）。字数は8,000字以上（注を含むが、表紙、目次は含まない）。注を付すること。

（注：「法学・政治学に関連する」とあるが、法学・政治学そのものの方法論によって書かれた論文に限定されるわけではない。）

〈3年次在学者〉※春季のみ募集

3年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

〈4年次在学者〉※秋季・春季ともに募集

秋季入試を受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上であること。

春季入試を受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

選考方法

経済学研究科

※各制度共通：「書類審査」に関する詳細は後述する「書類審査について（博士前期課程、博士後期課程共通）」を確認すること。

●一般入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

一般入試 アカデミック・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆 記 試 験		口 述 試 験
専門科目	英語	
10：00～11：00		13：00～
下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 1 「経済学」、「経営学」、「会計学」	英語 * 2 TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS いずれかのスコアを用いる。	専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

- * 1 「経済学」を選択し、2023年4月1日以降に受験したERE（ミクロ・マクロ）における総合評価B+以上の成績証明書を提出した者は筆記試験を免除する。出願時にERE（ミクロ・マクロ）の成績証明書の原本を送付すること。
- * 2 英語の筆記試験に代えて、出願時からさかのぼって2年以内に受験したTOEFL iBTスコア64点以上、TOEIC L&R スコア675点以上、IELTS Band(overall) 5.5以上のスコア表を提出すること。出願時にそのいずれかの成績評価証明書（原本）を送付すること。入試当日に英語の筆記試験は行わない。
- * 3 * 1、* 2に関し不明な点があれば、大学院事務課に出願前に相談すること。

一般入試 キャリア・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆 記 試 験	口 述 試 験
専 門 科 目	
10：00～11：00	13：00～
「会計学」(披見不可)	専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

●外国人入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

外国人入試 アカデミック・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆 記 試 験	口 述 試 験
専 門 科 目	
10：00～11：00	13：00～
下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 1 「経済学」、「経営学」、「会計学」	専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

- * 1 「経済学」を選択し、2023年4月1日以降に受験したERE（ミクロ・マクロ）における総合評価B+以上の成績証明書を提出した者は筆記試験を免除する。出願時にERE（ミクロ・マクロ）の成績証明書の原本を送付すること。
- ※日本語能力試験N1レベルまたは日本留学試験日本語の成績が315点（記述30点以上）以上であることが証明できない場合、不合格となる。
- ※日本の大学を卒業した者はこの入試制度の対象外とする。一般入試を受験すること。
- ※外国人入試はアカデミック・コースのみ出願できる。キャリア・コースを志望する外国人はこの入試制度の対象外とする。一般入試を受験すること。
- ※英語能力の確認のため、出願時から2年以内に受験したTOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、国連英検、実用英語検定のいずれかのスコア証明等（原本）を保持している場合は、任意で出願時に送付すること。口述試験時に参照することがある。英語を母語とする者は送付不要。

●社会人入試

社会人入試 アカデミック・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選 考	
	小論文試験	口述試験
	10:00～11:00	13:00～
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき前期課程で研究を行う明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは、民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことを含む。	出願時に各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文	専攻を希望する分野に関連して行う

社会人入試 キャリア・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選 考	
	小論文試験*1	口述試験
	10:00～11:00	13:00～
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき前期課程で研究を行う明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは、民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことを含む。	出願時に各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文	専攻を希望する分野に関連して行う

- *1 キャリア・コースを志望し、税理士試験において1科目以上合格している者は小論文試験を免除する。合格証明書(コピー可)を送付。
- *2 小論文試験免除対象者の口述試験はオンライン形式で当日午前中から実施する場合もある。詳細は送付される受験票で確認すること。

●学内推薦入試

アカデミック・コース：「書類審査」、「口述試験」

受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、学部教員の推薦を受けた者。

- ① 本学経済学部で4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者。
- ② 本学経済学部を卒業して、2年以内の者。
- ③ 累積GPAが2.2以上であること。
 - (1) 本学経済学部で4年次在学中で、秋季に受験する場合には3年次までの累積GPA。
 - (2) 本学経済学部で4年次在学中で、春季に受験する場合には4年次前期までの累積GPA。
 - (3) 本学経済学部を卒業して、2年以内者は卒業時点の累積GPA。

キャリア・コース：「書類審査」、「口述試験」

受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、学部教員の推薦を受けた者。

- ① 本学経済学部で4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者。
- ② 本学経済学部を卒業して、2年以内の者。
- ③ 累積GPAが2.2以上であること。
 - (1) 本学経済学部で4年次在学中で、秋季に受験する場合には3年次までの累積GPA。
 - (2) 本学経済学部で4年次在学中で、春季に受験する場合には4年次前期までの累積GPA。
 - (3) 本学経済学部を卒業して、2年以内者は卒業時点の累積GPA。

学内推薦入試の口述試験はオンライン形式に変更される場合もある。形式ならびに開始時間の詳細については送付される受験票で確認すること。

【書類審査について】

提出された研究計画等に記載の内容を基に行う。以下の3点を重視する。

- ① 研究の目的 (研究によって明らかにしようとするポイント)
- ② 研究の特色 (社会人入試においては社会的実務経験から得た問題意識との関連を説明すること)
- ③ 研究の概要 (研究の手順と手法)

6. 博士後期課程

出願資格

以下(1)～(8)のいずれかの要件を満たす者(出願年度3月末日までにその見込みのある者も含む。)

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者。
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業を履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- (6) 外国の大学等の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者。

文学研究科 入試制度別出願条件

※秋季入試は既修了(卒業)者または9月修了(卒業)者を対象とする。

博士後期課程出願資格を満たしている者は、以下いずれかの入試を受験することができる。

一般入試	博士後期課程出願資格を満たしている者。
外国人入試	外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者。 日本語能力試験N1合格、或いは日本留学試験日本語の成績260点以上。 ※日本国内の大学院を修了した場合、一般入試を受験してください。
社会人入試	入学予定時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者。 ①最終学歴〈学士〉で出願する者。 学士の学位取得後5年以上を経過し博士前期課程(修士課程)を修了した者と同等以上の学力があると認められ、かつ研究業績を有する者。 ②最終学歴〈修士〉で出願する者。 修士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者。

文学研究科 選考方法

全入試制度において「書類選考」及び「口述試験」により選考

※口述試験は対面で実施します。実施要領・実施時間は、書類選考結果通知に同封します。

一般入試、外国人入試、社会人入試の課題一覧

神道学・宗教学専攻課題一覧(秋季・春季共通)

コース・分野	課題及び作成要領	字数	書式他
・神道学 ・宗教学	- 自分が大学院博士課程前期(または後期課程)で遂行したい研究について文章で説明してください。 - 作成にあたっては、1行目に研究テーマを、2行目に氏名をそれぞれ記し、3行目から本文を記述してください。 - 本文では、研究テーマについて、①研究の目的、②神道学(神道研究)または宗教学(宗教研究)における先行研究の概況および自らの研究の位置づけ・独自性など、③研究の構想と具体的な方法(フィールドワークや史料の分析など)や研究計画、④予想される研究成果やその後の展望などについて明確に記述してください。 - 記述にあたっては適宜段落に分け、それぞれに見出しをつけてください。	3,000～4,000 字程度	A4横書・32 字×25行 14ポイント を基本とする。

文学専攻課題一覧(秋季・春季共通)

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
日本文学	あなたの研究課題に関わる近年の論文(単行本または学術論文)を二点あげて論評しなさい。また、あなたの研究課題の独自性について述べなさい(近年の研究動向をふまえること)。	4,000字程度	A4横書・32 字×25行 14ポイント を基本とする。
日本語学	関心のある論文を1つ挙げて、内容の紹介および批評をしなさい。	4,000字程度	
中国文学	あなたの専攻分野についてテーマを設定し、具体的に論述しなさい。	4,000字程度	
伝承文学	あなたの研究課題と内容から、先行研究として重要な論文を2点上げ、それぞれの論点と内容について論評しなさい。	4,000字程度	
高度国語教育	あなたの研究テーマについて、先行研究や最近の研究動向等をふまえ、その特徴と期待できる成果を論述しなさい。	4,000字程度	
高度日本語教育	あなたの研究テーマについて、先行研究、日本語教育の現状などを踏まえて、構想・方法・意義などについて記述しなさい。	4,000字程度	

史学専攻課題一覧(秋季・春季共通)

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
全コース	- 冒頭に研究テーマを記し、次の行に氏名を記し、1行開けて本文を書いてください。本文は節を3以上設定し、それぞれの節に番号を付け、題名を付けてください。 - 研究の目的、研究の構想と方法、使用する資料、研究の計画、予想される研究成果と展望などを記してください。	5,000～6,000 字程度	A4横書・32 字×25行 14ポイント を基本とする。

法学研究科 選考方法

法学研究科【博士後期課程】

●一般入試・外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

筆 記 試 験 ※1	口述試験※2
9 : 30～11 : 00	13 : 00～
・外国語：英語・独語・仏語のうち1科目。 英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可。法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。	希望する専門科目について行う

※1 日本法制史の分野を専攻する者は、外国語を日本法制史に関する史料解読に代えることができる。

※2 口述試験は、開始時間が前後することがある。

経済学研究科 選考方法

※各制度共通：「書類審査」に関する詳細は後述する「書類審査について（博士前期課程、博士後期課程共通）」を確認すること。

経済学研究科【博士後期課程】

●一般入試・外国人入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

筆 記 試 験	口 述 試 験
外国語	
10 : 00～11 : 00	13 : 00～
英語 (英和辞書の利用可。但し、電子辞書の利用不可。)	修士論文を審査するとともに専門分野に関連して行う (30分程度)

●社会人入試 「書類審査」、「口述試験」

出 願 資 格	口述試験
	13 : 00～
大学院博士前期課程（修士課程）修了者または修了見込者で、以下①②のいずれかの条件を満たす者。 ①学士の称号または学位取得後から大学院受験時まで5年以上の社会的実務経験を有し、かつ研究業績を有する者。 ②修士の学位取得後から大学院入試時まで2年以上の社会的実務経験を有する者。 ※社会的実務経験とは、公的機関、民間機関における勤務（臨時雇用でも継続的なものであればよい）のほかに、家業に継続して従事したことを含む。	修士論文を審査するとともに専門分野に関連して行う (30分程度)

【書類審査について】

提出された研究計画等に記載の内容を基に行う。以下の3点を重視する。

- ①研究の目的（研究によって明らかにしようとするポイント）
- ②研究の特色（社会人入試においては社会的実務経験から得た問題意識との関連を説明すること）
- ③研究の概要（研究の手順と手法）

7. 各入試共通事項



●博士前期課程 出願書類一覧

- ◆募集要項：<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/pl-2>
- ◆出願書類：出願書類はそれぞれの提出方法に沿って提出すること（A4サイズに統一すること）。
- ◆事前エントリー及び出願書類の電子提出：指定の出願フォームより行うこと。（ホームページに掲載予定）

入試制度コード：A：一般入試 B：外国人入試 C：社会人入試
D：学内成績（文・法） F：学内論文（法） H：学内推薦（経）

❖全研究科共通（文・法・経）

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備考	入試制度
1	入学志願票	所定用紙①	—	紙	募集要項から切り取り、3か月以内の写真2枚を貼付。	all
2	口述調書	所定用紙③	★	紙	志願票と同じ写真1枚を貼付。	all
3	研究計画書	所定用紙④（文学研究科） 所定用紙⑤（法学研究科） 所定用紙⑥（経済学研究科）	★	電子	・文字数・内容については、各研究科表紙の指定通りに作成すること。	all
4	志願理由及び自己推薦書	所定用紙⑦	★	電子	・「学内成績選考・学内推薦」入試の出願者は提出すること。 ・自己推薦書には推薦理由を明示する資料を添えてもよい。	D・F・H
5	外国籍調査書	所定用紙⑩	★	電子	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
6	旅券・在留カードの写し		—	紙	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
7	証明書（3か月以内発行のもの）	出身大学の「卒業（見込み）証明書」および「成績証明書」等	—	紙	証明書は出願の3か月以内に発行されたもの。	all
8	返信用封筒（受験票用）	定型長型3号封筒1枚	—	紙	宛先（住所）・宛名（氏名）を明記、344円*切手貼付け。 ※郵便料金の改定により変更の場合、ホームページにて知らせる。	all
9	在職証明書		—	紙	在職中の者は全員提出すること。	C
10	長期履修申請書	所定用紙⑬	★	紙	希望者のみ提出	all

証明書について：

- *外国の大学の卒業生で卒業証明書に学位の記載がない場合は、学位の取得を証明する書類（学位授与証明書等）を提出すること。
- *外国籍で、日本の日本語教育機関（日本語学校等）に在学中の者は、「出席証明書」および「成績証明書」を提出すること。
- *外国籍で、日本の大学の研究生として在籍中の者は、指導教員の推薦状を提出することが望ましい。
- *外国語で記載された証明書は、必ず日本語訳（本人作成のものも認める）を添付すること。
- *3年生は「卒業見込み証明書」の提出は不要。
- *社会人入試出願者は最終大学（大学院）の「卒業（修了）証明書」及び「成績証明書」を提出すること。
- *「学内成績」及び「学外成績」出願者は、各研究科指定のGPA記載の成績（「成績証明書」あるいは「成績通知書」）を提出すること。

❖文学研究科

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備考	入試制度
11	専攻コース別の課題	所定用紙⑪	★	電子	「専攻コース別の課題一覧」で指定の課題を所定用紙に作成し、提出すること。	A・B・C
12	選考調書	所定用紙⑫	★	電子	神道学・宗教学専攻、文学専攻に出願の者は、提出すること。史学専攻は提出不要。	A・B・C
13	日本語能力試験N1合格証明、或いは日本留学試験日本語の成績（260点以上）証明を提出すること。					B
	*文学・史学専攻の「学内成績選考入試」の春季出願者は、「卒業論文または演習・ゼミ論文」の写しを提出すること。 *「学内成績選考入試」の秋季出願者は、K-mapy IIからGPA記載の「成績照会」を提出、 春季出願者は、GPA記載の「成績証明書」を提出すること。					D

❖法学研究科

*「学内成績選考入試」の出願者は、本学教員（兼任講師を含む）の推薦書を提出することが望ましい。 *「学内論文選考入試」の出願者は、法学・政治学に関連する論文（卒業論文や演習論文を含む）を提出すること。字数は8,000字以上（注を含むが、表紙・目次は含まない）。注を付すこと。 注：「法学・政治学に関連する」とあるが、法学・政治学そのものの方法論によって書かれた論文に限定されるわけではない。						D・F・他
---	--	--	--	--	--	-------

❖経済学研究科

*「専門科目」の筆記試験免除を希望する者は、ERE（ミクロ・マクロ）の成績証明書の原本を提出すること。アカデミックコースの一般入試の受験者はTOEFL等指定する成績評価証明書（原本）を提出すること。「外国人入試」を希望する者は、N1等指定する成績通知書を提出すること。また、英語能力を証明できる書類を提出すること。 *「キャリア・コース」の出願者は、税理士試験等結果通知書、一部科目合格通知書または一部科目合格証明書のいずれかのコピーを提出すること。 *「学内推薦入試」の出願者は、学部教員の推薦書（様式自由）を提出すること。						all
---	--	--	--	--	--	-----

「★マークの所定用紙」は、大学院ホームページよりファイルをダウンロードし、作成可能。

- ◆他の大学（大学院）に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学（大学院）の「退学証明書」を提出すること。
令和7〔2025〕年3月卒業見込者または修了見込者は不要。

●博士後期課程 出願書類一覧

◆募集要項： <https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/pl-2>

◆出願書類：出願書類はそれぞれの提出方法に沿って提出すること（A4サイズに統一すること）。

◆事前エントリー及び出願書類の電子提出：指定の出願フォームより行うこと。（ホームページに掲載予定）



❖全研究科共通（文・法・経）

入試制度コード：A：一般入試 B：外国人入試 C：社会人入試

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備 考	入試制度
1	入学志願票	所定用紙②		紙	募集要項から切り取り、3か月以内の写真2枚を貼付。	all
2	口述調書	所定用紙③	★	紙	志願票と同じ写真1枚を貼付。	all
3	研究計画書	所定用紙④（文学研究科） 所定用紙⑤（法学研究科） 所定用紙⑥（経済学研究科）	★	電子	・文字数・内容については、各研究科表紙の指定通りに作成すること。	all
4	研究業績書	所定用紙⑨	★	電子	・「社会人入試」出願者は提出すること。 ・最終学歴（修士）で文学研究科に出願する者は提出不要。	C
5	外国籍調査書	所定用紙⑩	★	電子	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
6	旅券・在留カードの写し		—	紙	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
7	証明書	最終大学院の「修了（見込み）証明書」、および「成績証明書」等	—	紙	証明書は出願の3か月以内に発行されたもの。	all
8	返信用封筒（受験票用）	定型長型3号封筒1枚	—	紙	宛先（住所）・宛名（氏名）を明記、344円*切手貼付け。 ※郵便料金の改定により変更の場合、ホームページにて知らせる。	all
9	研究業績の抜粋		—	紙	「社会人入試」出願者で、「4. 研究業績書」を提出の場合は提出すること。	C
10	在職証明書		—	紙	「社会人入試」出願者で、在職中の者は提出すること。	C

証明書について：

*外国大学の卒業生で卒業証明書に学位の記載がない場合は、学位の取得を証明する書類（学位授与証明書等）を提出すること。

*外国籍で、日本の日本語教育機関（日本語学校等）に在籍中の者は、「出席証明書」および「成績証明書」を提出すること。

*外国籍で、日本の大学の研究生として在籍中の者は、指導教員の推薦状を提出することが望ましい。

*外国語で記載された証明書は、必ず日本語訳（本人作成のものも認める）を添付すること。

*社会人入試出願者は最終大学（大学院）の「卒業（修了）証明書」及び「成績証明書」を提出すること。

❖文学研究科

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備 考	入試制度
11	修士論文要旨	所定用紙⑧	★	電子	・2,000字程度 ・「一般入試」「外国人入試」出願者は提出すること。	A・B
12	修士論文の写し	過年度修了者は最新の業績でも可	—	電子		all
13	専攻コース別の課題	所定用紙⑪	★	電子	「専攻コース別の課題一覧」で指定の課題を所定用紙に作成し、提出すること。	all
14	選考調書	所定用紙⑫	★	電子	史学専攻に出願のものは提出不要	all
15	日本語能力試験N1合格証明、或いは日本留学試験日本語の成績（260点以上）証明を紙で提出					B

❖法学研究科

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備 考	入試制度
11	修士論文要旨	400字詰原稿用紙20枚程度。	—	電子	「一般入試」「外国人入試」出願者は提出すること。	A・B
12	修士論文の写し	本学大学院前期課程修了見込者は不要	—	電子	外国語の場合は日本語訳を付ける。	all
13	研究状況の概要書	書式自由	—	電子	修士学位を取得して2年以上経た者が対象	A・B

❖経済学研究科

No.	提出書類	様式・種類	書式	提出方法	備 考	入試制度
11	修士論文要旨	400字詰原稿用紙10枚程度。 日本語で作成すること。	—	電子	「一般入試」「外国人入試」出願者は提出すること。	all
12	修士論文の写し	英語以外の外国語の場合は日本語訳を付ける。	—	電子	・一般入試出願者：過年度に大学院博士前期（修士）課程を修了した者は、修士論文または修士論文を加筆・修正し提出すること。 ・社会人入試出願者：最終学歴（修士）で出願する者は修士論文、なお、修士論文に加えてその後の研究業績を追加して提出しても可。最終学歴（学士）で出願する者は修士論文に相当すると考えられる研究業績。いずれもコピー可。	all

「★マークの所定用紙」は、大学院ホームページよりファイルをダウンロードし、作成可能。

◆他の大学（大学院）に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学（大学院）の「退学証明書」を提出すること。

令和7〔2025〕年3月卒業見込者または修了見込者は不要。

●大学院 入試コード一覧表 志願票等各種出願書類「入試コード」4マスに入試コードを記入すること。

秋季試験

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 3 1 M
			文 学	A 3 1 Q
			史 学	A 3 1 S
			法 学	A 3 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	A 3 1 N
			文 学	A 3 1 R
			史 学	A 3 1 T
			法 学	A 3 2 E
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 3 1 M
			文 学	D 3 1 Q
			史 学	D 3 1 S
			法 学	D 3 2 E
学内論文選考入試	前期	法 学	法 律 学	F 3 2 E
学 内 推 薦 入 試	前期	経済学	経 済 学	H 3 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 3 1 M
			文 学	B 3 1 Q
			史 学	B 3 1 S
			法 学	B 3 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 3 1 N
			文 学	B 3 1 R
			史 学	B 3 1 T
			法 学	B 3 2 E
社 会 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	C 3 1 M
			文 学	C 3 1 Q
			史 学	C 3 1 S
			法 学	C 3 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	C 3 1 N
			文 学	C 3 1 R
			史 学	C 3 1 T
			法 学	C 3 2 E

●各専攻のコース・分野

専攻	コース・分野
神道学・宗教学	神道学 宗教学
文 学	日本文学
	日本語学
	中国文学
	伝承文学
	高度国語・日本語教育
史 学	日本史学
	外国史学
	考古学
	美学美術史
	博物館学
法 律 学	法律(研究コース・公務員養成コース)
	政治(研究コース・公務員養成コース)
経 済 学	アカデミック
	キャリア

※志願票に希望する専攻のコース・分野を必ず記入してください。

春季試験

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 M
			文 学	A 1 1 Q
			史 学	A 1 1 S
			法 学	A 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 N
			文 学	A 1 1 R
			史 学	A 1 1 T
			法 学	A 1 2 K
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
			史 学	D 1 1 S
			法 学	D 1 2 E
学内論文選考入試	前期	法 学	法 律 学	F 1 2 E
学 内 推 薦 入 試	前期	経済学	経 済 学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
社 会 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M
			文 学	C 1 1 Q
			史 学	C 1 1 S
			法 学	C 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N
			文 学	C 1 1 R
			史 学	C 1 1 T
			法 学	C 1 2 E
再 入 学	前期	文 学	神道学・宗教学	G 1 1 M
			文 学	G 1 1 Q
			史 学	G 1 1 S
			法 学	G 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	G 1 1 N
			文 学	G 1 1 R
			史 学	G 1 1 T
			法 学	G 1 2 K

●出願・受験上の注意

1. 志願票表面の選択受験する科目を必ず○で囲み、所定事項は楷書で正確に記入してください。
2. 出願後の受験科目の変更は認めません。
3. 試験当日は受験票を携帯し、試験開始15分前までに試験場に入り、係員の指示に従ってください。
4. 受理した書類および入学検定料等は、事情のいかんにかかわらず返還しません。
5. 試験当日、学校保健法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し登校停止期間中である場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。

また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理には十分注意してください。

ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた場合には、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置は行いません。

●入学検定料と納入方法

入学検定料は1回の試験につき、**35,000円**です。下記①あるいは②いずれかの方法により入学検定料を納入してください。

①金融機関を利用する場合（ゆうちょ銀行は利用不可）

振込用紙は「入学志願票」と一連になっています。各票に必要事項を記入の上、切り離さず取扱店窓口へ持参してください（注意：ATMは利用しないでください）。振込終了後、志願票【A票】【C票】に取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。志願票【C票】は領収書ですので各自保管してください。

本学指定の振込先銀行口座は次のとおりです。

銀行名	支店名	口座番号
みずほ銀行	渋谷中央支店	普通No.1391131
三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通No.8195674
りそな銀行	渋谷支店	普通No.0093868

*手数料について

本学指定の銀行の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の銀行等からの振込みの際の手数料は、本人負担となります。

②証明書自動発行機を利用する場合

証明書自動発行機は、渋谷キャンパスの若木タワー1階（1台）・2階（2台）に設置されています。

以下「操作手順」に添って「検定料」の証紙を購入してください。

【証明書自動発行機の手順】

☞ 「一部の過年度生・学外者」ボタンを選択

☞ 「番号で選ぶ」を選択

☞ 「345」を入力して「検索」➡「345大学院入学 検定料」を選択

☞ 発行部数「1」を選択 ➡ 「確定」

☞ 検定料（35,000円）を投入してください（領収書が必要な方は「領収書あり」を選択してください）。

☞ 「大学院入学検定料」（A4証紙）が出力されますので、氏名を記入のうえ提出してください。

【稼働時間】

月～金曜日 9:00～20:30 土曜日 9:00～17:00

（夏季・年末年始・大学行事日は、稼働時間に変更されることがあります。変更に関するお知らせは大学ホームページをご確認ください。）

* 志願票【C票】【D票】は使用しません。

●入学手続

〈秋季合格者〉

第1次提出書類

- ①入学申込金(100,000円)を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票の写し
- ②誓約書・履歴書
- ③保証書
- ④研究題目届(希望指導教員記入)
- ⑤写真台紙 ※3か月以内に撮影のカラー写真(3cm×4cm)を貼付すること。
- ⑥封筒(本人宛第2次手続連絡用に使用。長型3号サイズ・住所・宛名記載。切手不要)

第2次提出書類

- ①学費等納付金(第1次手続の「入学申込金」を控除した残額)を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票(所定用紙・大学提出用)の写し
- ②卒業または修了証明書(卒業見込みで出願の者は必ず3月末日までに提出すること)
- ③在留カードの写し(表・裏) 外国籍の者は必ず提出すること。
- ④住民票(3か月以内発行のもの)

※第2次手続の納付金所定用紙については、2月中旬頃までに改めて送付する。

〈春季合格者〉

提出書類

- ①学費等納付金を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票(所定用紙・大学提出用)の写し
- ②誓約書・履歴書
- ③保証書
- ④研究題目届(希望指導教員記入)
- ⑤写真台紙 ※3か月以内に撮影のカラー写真(3cm×4cm)を貼付すること。
- ⑥卒業または修了証明書(卒業見込みで出願の者は必ず3月末日までに提出すること)
- ⑦住民票(3か月以内発行のもの)
- ⑧在留カードの写し(表・裏) 外国籍の者は必ず提出すること。

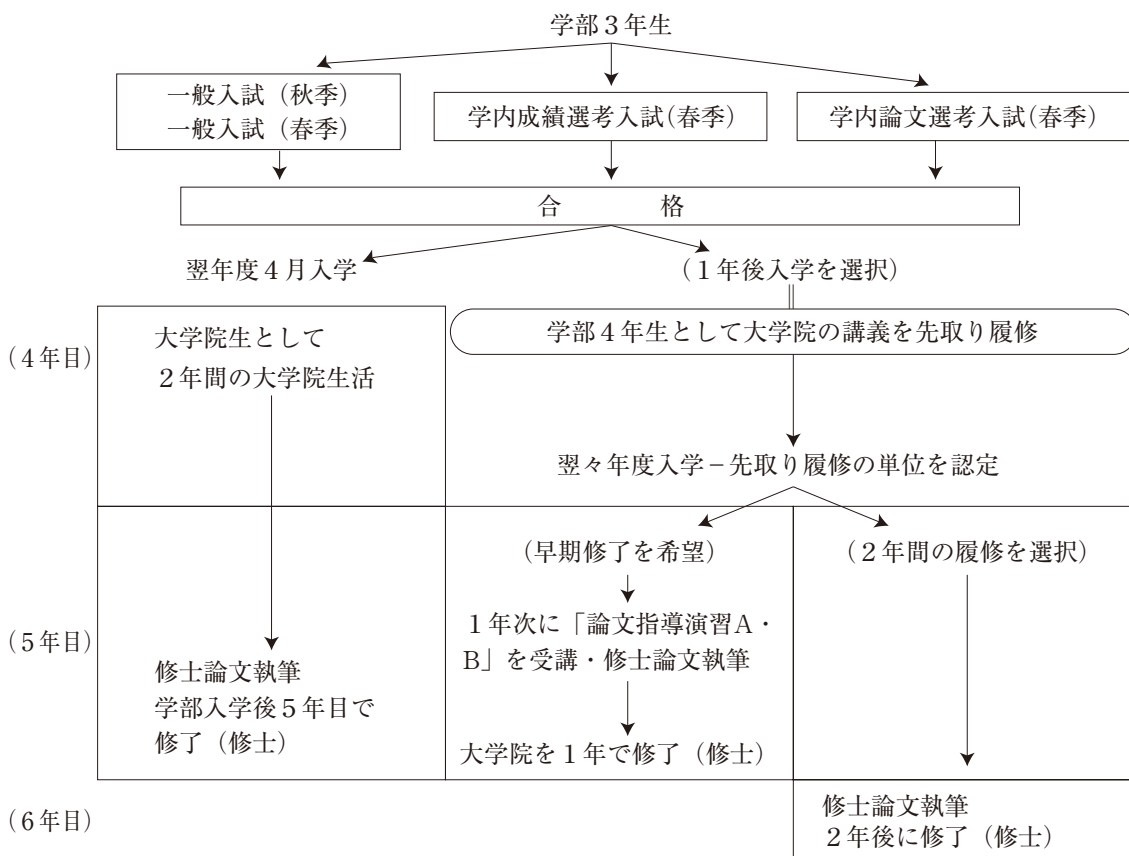
※書類はすべてA4サイズに統一すること。

※資格(教員免許や学芸員など)取得等を目的に学部の「科目等履修生」登録を希望の場合、お早め(3月上旬までに)に教務課窓口にて、ご確認ください。

●学位授与までの流れ

	博士前期課程(標準修業年限：2年)	博士後期課程(標準修業年限：3年)
1年次	4月：履修登録（通年・前期科目） 9月：履修登録（後期科目） 11月：修士論文第1次題目 提出	4月：履修登録 6月：博士論文作成計画書 提出 2月：年次研究成果報告書 提出
2年次	4月：履修登録（通年・前期科目） 5月：修士論文題目 提出 9月：履修登録（後期科目） 1月：修士論文 提出 2月：最終試験 3月： <u>学位授与：修士</u>	4月：履修登録 6月：博士論文作成計画書 提出 2月：年次研究成果報告書 提出
3年次		4月：履修登録 6月：博士論文中間報告書（文学研究科） 提出 ↓ 9月：博士論文（経済学は10月） ↓ 提出 ↓ 12～1月：口頭試問 3月：<u>学位授与：博士</u> 未提出 (博士論文作成計画書) ↓ 未提出 (年次研究成果報告書) ↓ 2月：最終試験 3月：所定の単位を修得して退学 または修了延期（6年次まで）

●学部3年生の法学研究科入学試験合格後の選択肢（法学研究科博士前期課程）



●学費等納付金

令和6年度の学費等納付金一覧（令和7年度分は未定のため、参考として掲載）

単位：円

項 目		前期課程						後期課程					
		本学出身者			他大学出身者			本学（前期課程）出身者			他大学出身者		
		総額	①（前期）	②（後期）	総額	①（前期）	②（後期）	総額	①（前期）	②（後期）	総額	①（前期）	②（後期）
学 費	入 学 金	100,000	100,000	—	200,000	200,000	—	—	—	—	200,000	200,000	—
	授 業 料	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500
	施 設 設 備 費	100,000	50,000	50,000	200,000	100,000	100,000	—	—	—	200,000	100,000	100,000
	維 持 運 営 費	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—
	小 計	715,000	412,500	302,500	915,000	562,500	352,500	515,000	262,500	252,500	915,000	562,500	352,500
諸 費	大 学 院 紀 要 代	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	(文)國學院雑誌代	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	(法)國學院法学代	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—
	(経)経済学会費	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	院友会(同窓会)入会金	—	—	—	10,000	10,000	—	—	—	—	10,000	10,000	—
	文 学 研 究 科	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—
	法 学 研 究 科	5,000	5,000	—	15,000	15,000	—	5,000	5,000	—	15,000	15,000	—
	経済学研究科	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—
合 計	文 学 研 究 科	719,000	416,500	302,500	929,000	576,500	352,500	519,000	266,500	252,500	929,000	576,500	352,500
	法 学 研 究 科	720,000	417,500	302,500	930,000	577,500	352,500	520,000	267,500	252,500	930,000	577,500	352,500
	経済学研究科	719,000	416,500	302,500	929,000	576,500	352,500	519,000	266,500	252,500	929,000	576,500	352,500

- 備考 1. 入学手続き時は前期分の学費等納付金をお振込みください。
後期分の学費の納付につきましては、入学後にご案内します。
2. 本学出身者の入学金および施設設備費については、次のとおりです。
- イ. 前期課程 半額
 - ロ. 後期課程 本学前期課程修了者は徴収しない。
本学学部出身者で、他大学前期課程修了者は半額。

●奨学金制度

1. 國學院大學大学院の奨学金について

令和2年度より、従来の奨学金制度をより明確且つ客観的な根拠に基づき、選考する趣旨のもと、学業・人物ともに優秀かつ、特に経済的に困難を抱えている在学学生を支援する「経済支援型」、及び、特に学業や研究業績の優秀者を支援する「学業奨励型」があります。2種の奨学金は併願を可能とします。詳細は、大学ホームページでご確認ください。

また、入学後に安心して学業に専念できるように、「経済支援型」には、大学院入試に出願する前に申請（支給は入学後）できる「経済支援型（予約型）」がありますので、是非ご確認ください（入学前に支給が決まった場合、入学後1年次には「経済支援型」に申請することはできない）。

募集については、大学院ホームページでご確認ください。

2. 日本学生支援機構奨学金（貸与）

日本学生支援機構の奨学生として採用された場合には貸与月額（第一種奨学金の月額）、前期課程50,000円または88,000円・後期課程80,000円または122,000円が貸与されます。

3. 経済学研究科税理士試験支援奨学金

経済学研究科キャリアコースに在学し、税理士試験に1科目以上合格している学生を対象に、大学の指定する外部セミナーの受講料相当額の50%で、1回につき10万円を限度として支援します。

4. その他

神社本庁・地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

●入学辞退による学費等の返還について

入学手続き完了後、やむをえない事由により入学を辞退される場合は、申出期間までに申し出てください。書面による所定の手続きを経て、入学金を除く授業料等を返還します（4月中旬振込予定）。

申 出 期 限 出願年度の末日（日・祝日の場合は、前日） 午後4時

書面提出先 國學院大學大学院事務課 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

電話 03-5466-0142

令和6年度 大学院入学試験実施状況

【秋季・春季合計】

課程	研究科	専攻	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数		
			本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計
前期	文学	神道学・宗教学	13	7	20	13	7	20	11	4	15	11	4	15
		文学	23	27	50	23	27	50	19	16	35	19	11	30
		史学	36	24	60	36	24	60	28	9	37	27	7	34
		計	72	58	130	72	58	130	58	29	87	57	22	79
	法学	法律学	5	1	6	4	1	5	4	0	4	3	0	3
	経済学	経済学	7	28	35	7	21	28	4	11	15	4	9	13
前期課程 計			84	87	171	83	80	163	66	40	106	64	31	95
後期	文学	神道学・宗教学	3	4	7	3	4	7	2	1	3	2	1	3
		文学	6	2	8	6	2	8	6	0	6	6	0	6
		史学	6	1	7	6	1	7	6	0	6	6	0	6
		計	15	7	22	15	7	22	14	1	15	14	1	15
	法学	法律学	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2
	経済学	経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後期課程 計			17	7	24	17	7	24	16	1	17	16	1	17
前期課程・後期課程総計			101	94	195	100	87	187	82	41	123	80	32	112

【秋季入学試験】

課程	研究科	専 攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数		
				本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計
前期	文 学	神道学・宗教学	一般	5	3	8	5	3	8	4	2	6	4	2	6
			社会人	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			学内成績	4	—	4	4	—	4	4	—	4	4	—	4
		計		10	3	13	10	3	13	8	2	10	8	2	10
		文 学	一般	9	2	11	9	2	11	7	2	9	7	1	8
			社会人	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
			外国人	0	7	7	0	7	7	0	1	1	0	0	0
			学内成績	7	—	7	7	—	7	7	—	7	7	—	7
		計		17	9	26	17	9	26	15	3	18	15	1	16
		史 学	一般	5	7	12	5	7	12	3	5	8	3	3	6
			社会人	1	2	3	1	2	3	0	1	1	0	1	1
			外国人	0	4	4	0	4	4	0	1	1	0	1	1
			学内成績	17	—	17	17	—	17	15	—	15	14	—	14
		計		23	13	36	23	13	36	18	7	25	17	5	22
	計			50	25	75	50	25	75	41	12	53	40	8	48
	法 学	法律学	一般	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			学内成績	2	—	2	2	—	2	2	—	2	2	—	2
	計			2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	0	2
	経済学	経済学	一般	1	2	3	1	2	3	0	1	1	0	1	1
			社会人	1	5	6	1	4	5	0	2	2	0	2	2
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			学内推薦	4	—	4	4	—	4	4	—	4	4	—	4
	計			6	7	13	6	6	12	4	3	7	4	3	7
前期課程 計			58	33	91	58	32	90	47	15	62	46	11	57	
後期	文 学	神道学・宗教学	一般	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
		計		0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
		文 学	外国人	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
		計		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
		史 学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計			1	1	2	1	1	2	1	0	1	1	0	1
後期課程 計			1	1	2	1	1	2	1	0	1	1	0	1	
総 計			59	34	93	59	33	92	48	15	63	47	11	58	

【春季入学試験】

課程	研究科	専攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数			
				本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	
前期	文学	神道学・宗教学	一般	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	
			社会人	1	2	3	1	2	3	1	1	2	1	1	2	
			学内成績	2	—	2	2	—	2	2	—	2	2	—	2	
		計			3	4	7	3	4	7	3	2	5	3	2	5
		文学	一般	5	8	13	5	8	13	3	7	10	3	5	8	
			社会人	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
			外国人	0	9	9	0	9	9	0	5	5	0	4	4	
			学内成績	1	—	1	1	—	1	1	—	1	1	—	1	
		計			6	18	24	6	18	24	4	13	17	4	10	14
		史学	一般	7	7	14	7	7	14	5	2	7	5	2	7	
			社会人	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	3	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	
			学内成績	6	—	6	6	—	6	5	—	5	5	—	5	
		計			13	11	24	13	11	24	10	2	12	10	2	12
	計			22	33	55	22	33	55	17	17	34	17	14	31	
	法学	法律学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			学内成績	3	—	3	2	—	2	2	—	2	1	—	1	
			学内論文	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	
	計			3	0	3	2	0	2	2	0	2	1	0	1	
	経済学	経済学	一般	1	3	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
			社会人	0	15	15	0	15	15	0	8	8	0	6	6	
			外国人	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	計			1	21	22	1	17	18	0	8	8	0	6	6	
前期課程 計				26	54	80	25	50	75	19	25	44	18	20	38	
後期	文学	神道学・宗教学	一般	3	1	4	3	1	4	2	0	2	2	0	2	
			社会人	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		計			3	3	5	3	3	5	2	1	3	2	1	3
		文学	一般	5	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5	
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	
		計			5	2	7	5	2	7	5	0	5	5	0	5
		史学	一般	5	1	6	5	1	6	5	0	5	5	0	5	
			社会人	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計			6	1	7	6	1	7	6	0	6	6	0	6
	計			14	6	19	14	6	19	13	1	14	13	1	14	
	法学	法律学	一般	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	
	計			2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	
後期課程 計				16	6	21	16	6	21	15	1	16	15	1	16	
総計				42	60	101	41	56	96	34	26	60	33	21	54	

【再入学(春季実施)】

課程	研究科	専攻	志願	受験	合格	手続
後期	文学	文学	2	2	2	2
		史学	1	1	1	1
	総 計		3	3	3	3

8. 授業科目（令和6年度開講）と担当教員

博士前期(修士)課程〔文学研究科 神道学・宗教学専攻〕

* 神道専攻課程Ⅱ類希望者は、※印必修、○△□印各1科目選択必修

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
神道学・宗教学理論演習	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 遠 藤 潤	
神道神学研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 西 岡 和 彦	※
神道神学研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 西 岡 和 彦	※
神道神学研究AⅡ	(演習)				※令和6年度休講
神道神学研究BⅡ	(演習)				※令和6年度休講
神道史研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 加 瀬 直 弥	◎
神道史研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 加 瀬 直 弥	◎
神道史研究AⅡ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 武 田 秀 章	
神道史研究BⅡ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 武 田 秀 章	
神社史研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 笹 生 衛	
神社史研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 笹 生 衛	
神社史研究AⅡ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 藤 本 頼 生	
神社史研究BⅡ	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 藤 本 頼 生	
祭祀研究AⅠ	(演習)				□令和6年度休講
祭祀研究BⅠ	(演習)				□令和6年度休講
神道古典研究A	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 松 本 久 史	※
神道古典研究B	(演習)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 松 本 久 史	※
神道古典研究A	(講義)				令和6年度休講
神道古典研究B	(講義)				令和6年度休講
神道思想史研究A	(講義)	兼 担 教 授	博士(神道学・國學院大學)	大 東 敬 明	
神道思想史研究B	(講義)	兼 担 教 授	博士(神道学・國學院大學)	大 東 敬 明	
神社行政・管理研究A	(講義)				令和6年度休講
神社行政・管理研究B	(講義)				令和6年度休講
宗教学研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 遠 藤 潤	△
宗教学研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 遠 藤 潤	△
宗教学研究AⅡ	(演習)				△令和6年度休講
宗教学研究BⅡ	(演習)				△令和6年度休講
宗教社会学研究AⅠ	(演習)				△令和6年度休講
宗教社会学研究BⅠ	(演習)				△令和6年度休講
宗教社会学研究AⅡ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 黒 崎 浩 行	△
宗教社会学研究BⅡ	(演習)	教 授	博士(宗教学・國學院大學)	○ 黒 崎 浩 行	△
宗教行政研究A	(講義)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 藤 本 頼 生	※専攻科と合併
宗教行政研究B	(講義)	教 授	博士(神道学・國學院大學)	○ 藤 本 頼 生	※専攻科と合併
祭祀研究A	(講義)	兼 担 教 授	博士(宗教学・國學院大學)	小 林 宣 彦	□
祭祀研究B	(講義)	兼 担 教 授	博士(宗教学・國學院大學)	小 林 宣 彦	□
宗教哲学研究AⅠ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・東京大学)	奥 山 倫 明	
宗教哲学研究BⅠ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・東京大学)	奥 山 倫 明	
宗教哲学研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
宗教哲学研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講
仏教研究A	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・総合研究大学院大学)	岡 野 浩 二	
仏教研究B	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・総合研究大学院大学)	岡 野 浩 二	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
キリスト教研究A	(講義)	兼任講師		深澤英隆	
キリスト教研究B	(講義)	兼任講師		深澤英隆	
イスラーム研究A	(講義)				令和6年度休講
イスラーム研究B	(講義)				令和6年度休講
神社教化研究A	(講義)	兼担准教授	博士(宗教学・國學院大學)	齊藤智朗	※
神社教化研究B	(講義)	兼担准教授	博士(宗教学・國學院大學)	齊藤智朗	※
神社祭式基礎研究A	(講義)	兼任講師		茂木貞純	※専攻科と合併
神社祭式基礎研究B	(講義)	兼任講師		茂木貞純	※専攻科と合併
神社祭式研究A	(講義)				※令和6年度休講
神社祭式研究B	(講義)				※令和6年度休講
神社祭式応用研究A	(講義)				※令和6年度休講
神社祭式応用研究B	(講義)				※令和6年度休講
社会科教育学研究A	(講義)				令和6年度休講
社会科教育学研究B	(講義)				令和6年度休講
公民科教育学研究A	(講義)				令和6年度休講
公民科教育学研究B	(講義)				令和6年度休講

博士前期(修士)課程〔文学研究科 文学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本古典研究A	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○谷口雅博	オムニバス形式
日本古典研究B	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○飯倉義之	オムニバス形式
海外日本文学研究	(講義)				令和6年度休講
比較文学研究	(講義)	兼任講師		田村充正	
対照言語研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
対照言語研究BⅠ	(講義)				令和6年度休講
対照言語研究AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	河崎みゆき	
対照言語研究BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	河崎みゆき	
関係外国語研究A	(講義)				令和6年度休講
関係外国語研究B	(講義)				令和6年度休講
日中古典比較研究A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	塚越義幸	
日中古典比較研究B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	塚越義幸	
アジア文化比較研究A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	松尾恒一	
アジア文化比較研究B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	松尾恒一	
アカデミック・ライティングAⅠ	(講義)	兼担准教授	博士(文学・関西大学)	牧野格子	
アカデミック・ライティングBⅡ	(講義)				令和6年度休講
アカデミック・ライティングAⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	曹咏梅	
日本古典実習A	(実習)	兼担准教授	博士(文学・國學院大學)	渡邊卓	
日本古典実習B	(実習)				令和6年度休講
日本伝承文化実習	(実習)	教授	博士(民俗学・國學院大學)	○服部比呂美	
日本文学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○土佐秀里	
日本語学研究法	(講義)	教授	博士(文学・東北大学)	○三井はるみ	
中国文学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○浅野春二	
伝承文学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○伊藤龍平	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本語教育学研究法	(講義)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 諸 星 美智直	
日本上代文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 土 佐 秀 里	
日本上代文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 土 佐 秀 里	
日本上代文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 谷 口 雅 博	
日本上代文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 谷 口 雅 博	
日本中古文学研究A I	(演習)				令和6年度休講
日本中古文学研究B I	(演習)				令和6年度休講
日本中古文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 竹 内 正 彦	
日本中古文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 竹 内 正 彦	
日本中世文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○ 野 中 哲 照	
日本中世文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○ 野 中 哲 照	
日本近世文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 岩 崎 雅 彦	
日本近世文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 岩 崎 雅 彦	
日本近現代文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 石 川 則 夫	
日本近現代文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 石 川 則 夫	
日本近現代文学研究A II	(演習)				令和6年度休講
日本近現代文学研究B II	(演習)				令和6年度休講
日本古代語研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 小 田 勝	
日本古代語研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 小 田 勝	
日本古代語研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 吉 田 永 弘	
日本古代語研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 吉 田 永 弘	
日本近代語研究A	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 諸 星 美智直	
日本近代語研究B	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 諸 星 美智直	
日本現代語研究A	(演習)	教 授	博士(文学・東北大学)	○ 三 井 はるみ	
日本現代語研究B	(演習)	教 授	博士(文学・東北大学)	○ 三 井 はるみ	
中国文学研究A I	(演習)	教 授		○ 石 本 道 明	
中国文学研究B I	(演習)	教 授		○ 石 本 道 明	
中国文学研究A II	(演習)	教 授		○ 澤 崎 久 和	
中国文学研究B II	(演習)	教 授		○ 澤 崎 久 和	
中国文学研究A III	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 浅 野 春 二	
中国文学研究B III	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 浅 野 春 二	
中国文学研究A IV	(演習)	教 授		○ 宮 内 克 浩	
中国文学研究B IV	(演習)	教 授		○ 宮 内 克 浩	
伝承文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 飯 倉 義 之	
伝承文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 飯 倉 義 之	
伝承文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 伊 藤 龍 平	
伝承文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 伊 藤 龍 平	
伝統芸能研究A	(演習)				令和6年度休講
伝統芸能研究B	(演習)				令和6年度休講
民俗学研究A I	(演習)	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○ 服 部 比呂美	
民俗学研究B I	(演習)	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○ 服 部 比呂美	
民俗学研究A II	(演習)				令和6年度休講
民俗学研究B II	(演習)				令和6年度休講
民俗学研究A III	(演習)				令和6年度休講
民俗学研究B III	(演習)				令和6年度休講
日本文学史研究A I	(講義)	兼 担 教 授	博士(文学・國學院大學)	上 野 誠	(上代)
日本文学史研究B I	(講義)	兼 担 教 授	博士(文学・國學院大學)	上 野 誠	(上代)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本文学史研究AⅡ	(講義)	兼 担 教 授		中 村 正 明	(近世)
日本文学史研究BⅡ	(講義)	兼 担 教 授		中 村 正 明	(近世)
日本文学史研究AⅢ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・早稲田大学)	山 本 亮 介	(近現代)
日本文学史研究BⅢ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・早稲田大学)	山 本 亮 介	(近現代)
日本文学特論AⅠ	(講義)	兼 任 講 師		多 田 元	(上代)
日本文学特論BⅠ	(講義)	兼 任 講 師		多 田 元	(上代)
日本文学特論AⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	森 野 正 弘	(中古)
日本文学特論BⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	森 野 正 弘	(中古)
日本文学特論AⅢ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・大阪大学)	小 林 健 二	(中世)
日本文学特論BⅢ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・大阪大学)	小 林 健 二	(中世)
日本文学特論AⅣ	(講義)	兼担准教授	博士(文学・國學院大學)	安 西 晋 二	(近現代)
日本文学特論BⅣ	(講義)	兼担准教授	博士(文学・國學院大學)	安 西 晋 二	(近現代)
日本語語法学AⅠ	(講義)	兼 任 講 師		北 澤 尚	
日本語語法学BⅠ	(講義)	兼 任 講 師		北 澤 尚	
日本語語法学AⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	小 柳 智 一	
日本語語法学BⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	小 柳 智 一	
日本語学史A	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	村 山 昌 俊	
日本語学史B	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・國學院大學)	村 山 昌 俊	
日本語音韻史A	(講義)	兼 任 講 師		肥 爪 周 二	
日本語音韻史B	(講義)	兼 任 講 師		肥 爪 周 二	
日本語学特論AⅠ	(講義)				令和6年度休講
日本語学特論BⅠ	(講義)				令和6年度休講
日本語学特論AⅡ	(講義)				令和6年度休講
日本語学特論BⅡ	(講義)				令和6年度休講
中国文学史研究A	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・京都大学)	浅 見 洋 二	
中国文学史研究B	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・京都大学)	浅 見 洋 二	
中国文学特論AⅠ	(講義)				令和6年度休講
中国文学特論BⅠ	(講義)	兼 任 講 師		大 橋 由 美	
中国文学特論AⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・慶應義塾大学)	種 村 和 史	
中国文学特論BⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・慶應義塾大学)	種 村 和 史	
中国文学特論AⅢ	(講義)				令和6年度休講
中国文学特論BⅢ	(講義)				令和6年度休講
中国語学研究A	(演習)				令和6年度休講
中国語学研究B	(演習)				令和6年度休講
伝承文学史A	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・二松学舎大学)	原 由 来 恵	
伝承文学史B	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・二松学舎大学)	原 由 来 恵	
伝承文学特論AⅠ	(講義)	兼 任 講 師	博士(学術・埼玉大学)	伊 藤 慎 吾	
伝承文学特論BⅠ	(講義)	兼 任 講 師	博士(学術・埼玉大学)	伊 藤 慎 吾	
伝承文学特論AⅡ	(講義)				令和6年度休講
伝承文学特論BⅡ	(講義)	客 員 教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○ 小 川 直 之	
伝承文学特論AⅢ	(講義)	兼 担 教 授	博士(学術・東京外国語大学)	黒 澤 直 道	
伝承文学特論BⅢ	(講義)	兼 担 教 授	博士(学術・東京外国語大学)	黒 澤 直 道	
民俗学特論AⅠ	(講義)	客 員 教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○ 小 川 直 之	
民俗学特論BⅠ	(講義)	客 員 教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○ 小 川 直 之	
民俗学特論AⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・筑波大学)	宮 内 貴 久	
民俗学特論BⅡ	(講義)	兼 任 講 師	博士(文学・筑波大学)	宮 内 貴 久	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
民俗学特論AⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	関 沢 まゆみ	
民俗学特論BⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	関 沢 まゆみ	
民俗学特論AⅣ	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	林 承 緯	
伝統芸能特論AⅠ	(講義)				令和6年度休講
伝統芸能特論BⅠ	(講義)				令和6年度休講
伝統芸能特論AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(学術・千葉大学)	俵 木 悟	
伝統芸能特論BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(学術・千葉大学)	俵 木 悟	
儀礼文化研究A	(講義)	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	福 原 敏 男	
儀礼文化研究B	(講義)	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	福 原 敏 男	
国語教育実践研究AⅠ	(演習)	教 授		○ 高 山 実 佐	
国語教育実践研究BⅠ	(演習)	教 授		○ 高 山 実 佐	
国語教育実践研究AⅡ	(演習)	教 授		○ 齋 藤 智 哉	
国語教育実践研究BⅡ	(演習)	教 授		○ 齋 藤 智 哉	
日本語教育研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 諸 星 美智直	
日本語教育研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○ 諸 星 美智直	
日本語教育研究AⅡ	(演習)	教 授		○ 菊 地 康 人	
日本語教育研究BⅡ	(演習)	教 授		○ 菊 地 康 人	
学校文法体系論A	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	矢 澤 真 人	
学校文法体系論B	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	矢 澤 真 人	
日本文学研究AⅠ	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	沼 尻 利 通	(古典)
日本文学研究BⅠ	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	沼 尻 利 通	(古典)
日本文学研究AⅡ	(講義)	兼担教授		高 橋 大 助	(現代)
日本文学研究BⅡ	(講義)	兼担教授		高 橋 大 助	(現代)
漢文学研究A	(講義)	兼担准教授	博士(文学・九州大学)	青 木 洋 司	
漢文学研究B	(講義)	兼担准教授	博士(文学・九州大学)	青 木 洋 司	
国語教育学研究A	(講義)	兼任講師	博士(教育学・東京学芸大学) 博士(文学・國學院大學)	眞 有 澄 香	
国語教育学研究B	(講義)	兼任講師	博士(教育学・東京学芸大学) 博士(文学・國學院大學)	眞 有 澄 香	
教科書研究A	(講義)	兼任講師	博士(教育学・早稲田大学)	武 藤 清 吾	
教科書研究B	(講義)	兼任講師	博士(教育学・早稲田大学)	武 藤 清 吾	
教育法規研究A	(講義)	兼任講師		高 木 加奈絵	
教育法規研究B	(講義)	兼任講師		高 木 加奈絵	
日本語教授法実践	(講義)	兼任講師		河 内 彩 香	
日本語教授法研究	(講義)	兼任講師		河 内 彩 香	
日本語教育教材研究A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	伊 藤 孝 行	
日本語教育教材研究B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	伊 藤 孝 行	
第二言語習得論A	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	橋 本 ゆかり	
第二言語習得論B	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	橋 本 ゆかり	
日本語教育文法A	(講義)	兼任講師		北 澤 尚	
日本語教育文法B	(講義)	兼任講師		北 澤 尚	
日本語音声学A	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	松 崎 寛	
日本語音声学B	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	松 崎 寛	
応用言語学A	(講義)	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	宇佐美 まゆみ	
応用言語学B	(講義)	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	宇佐美 まゆみ	
教育方法学研究A	(講義)				令和6年度休講
教育方法学研究B	(講義)				令和6年度休講

博士前期(修士)課程〔文学研究科 史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
史学方法論研究Ⅰ	(講義)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	オムニバス
史学方法論研究Ⅱ	(講義)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	オムニバス
日本古代史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史研究AⅡ	(演習)	兼任講師		神谷正昌	
日本古代史研究BⅡ	(演習)	兼任講師		神谷正昌	
日本古代史特論A	(講義)	兼任講師		平野卓治	
日本古代史特論B	(講義)	兼任講師		平野卓治	
日本中世史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史特論A	(講義)				令和6年度休講
日本中世史特論B	(講義)				令和6年度休講
日本近世史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	
日本近世史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	
日本近世史特論AⅠ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	大友一雄	
日本近世史特論BⅠ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	大友一雄	
日本近世史特論AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	佐藤孝之	
日本近世史特論BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	佐藤孝之	
日本近現代史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○樋口秀実	
日本近現代史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○樋口秀実	
日本近現代史研究AⅡ	(演習)	准教授		○多和田真理子	
日本近現代史研究BⅡ	(演習)	准教授		○多和田真理子	
日本近現代史特論AⅠ	(講義)				令和6年度休講
日本近現代史特論BⅠ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・南開大学) 博士(政治学・早稲田大学)	徐顕芬	
日本近現代史特論AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(史学・上智大学)	櫻井良樹	
日本近現代史特論BⅡ	(講義)				令和6年度休講
日本近現代史特論AⅢ	(講義)	兼担准教授	博士(歴史学・國學院大學)	手塚雄太	
日本近現代史特論BⅢ	(講義)	兼担准教授	博士(歴史学・國學院大學)	手塚雄太	
宗教史料学研究A	(演習)				令和6年度休講
宗教史料学研究B	(演習)				令和6年度休講
日本史研究AⅠ	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本史研究BⅠ	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本史研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
日本史研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講
日本史研究AⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東北大学)	金子拓	
日本史研究BⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東北大学)	金子拓	
歴史地理学研究A	(演習)	教授		○吉田敏弘	
歴史地理学研究B	(演習)	教授		○吉田敏弘	
歴史地理学特論A	(講義)	兼担准教授	博士(歴史学・國學院大學)	川名禎	
歴史地理学特論B	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	橋村修	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
比較地誌学研究A	(演習)				令和6年度休講
比較地誌学研究B	(演習)				令和6年度休講
比較地誌学特論A	(講義)	兼任講師		林 和 生	
比較地誌学特論B	(講義)	兼任講師		林 和 生	
地 図 学 研 究 A	(演習)	教 授		○吉 田 敏 弘	
地 図 学 研 究 B	(演習)	教 授		○吉 田 敏 弘	
地 図 学 特 論 A	(講義)				令和6年度休講
地 図 学 特 論 B	(講義)	兼任准教授	博士(歴史学・國學院大學)	川 名 禎	
日本思想史特論A	(講義)				令和6年度休講
日本思想史特論B	(講義)				令和6年度休講
東 洋 史 研 究 A I	(演習)	准 教 授	博士(史学・明治大学)	○江 川 式 部	
東 洋 史 研 究 B I	(演習)	准 教 授	博士(史学・明治大学)	○江 川 式 部	
東 洋 史 研 究 A II	(演習)				令和6年度休講
東 洋 史 研 究 B II	(演習)				令和6年度休講
東 洋 史 特 論 A I	(講義)	兼任講師	博士(文学・京都大学)	櫻 井 智 美	
東 洋 史 特 論 B I	(講義)	兼任講師	博士(文学・京都大学)	櫻 井 智 美	
東 洋 史 特 論 A II	(講義)				令和6年度休講
東 洋 史 特 論 B II	(講義)				令和6年度休講
東アジア史研究A I	(演習)				令和6年度休講
東アジア史研究B I	(演習)				令和6年度休講
東アジア史特論A	(講義)				令和6年度休講
東アジア史特論B	(講義)				令和6年度休講
西 洋 史 研 究 A I	(演習)				令和6年度休講
西 洋 史 研 究 B I	(演習)				令和6年度休講
西 洋 史 研 究 A II	(演習)	教 授		○大久保 桂 子	
西 洋 史 研 究 B II	(演習)	教 授		○大久保 桂 子	
西 洋 史 特 論 A	(講義)				令和6年度休講
西 洋 史 特 論 B	(講義)				令和6年度休講
比較文化史研究A	(演習)				令和6年度休講
比較文化史研究B	(演習)				令和6年度休講
比較文化史特論A	(講義)	兼任講師		市 川 裕	
比較文化史特論B	(講義)	兼任講師		市 川 裕	
東洋思想史特論A	(講義)				令和6年度休講
東洋思想史特論B	(講義)				令和6年度休講
西洋思想史特論A	(講義)				令和6年度休講
西洋思想史特論B	(講義)				令和6年度休講
日本考古学研究A	(演習)				令和6年度休講
日本考古学研究B	(演習)				令和6年度休講
日本考古学特論A	(講義)	兼任講師		福 尾 正 彦	
日本考古学特論B	(講義)	兼任教授		池 田 榮 史	
先史考古学研究A	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷 口 康 浩	
先史考古学研究B	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷 口 康 浩	
先史考古学特論A	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	設 楽 博 己	
先史考古学特論B	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	設 楽 博 己	
先史考古学特論A II	(講義)				令和6年度休講
先史考古学特論B II	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	阿 部 昭 典	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
歴史考古学研究 A	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学研究 B	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特論 A I	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特論 B I	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特論 A II	(演習)	兼任講師		古谷毅	
歴史考古学特論 B II	(演習)	兼任講師		古谷毅	
外国考古学研究 A	(演習)				令和6年度休講
外国考古学研究 B	(演習)				令和6年度休講
外国考古学特論 A	(講義)				令和6年度休講
外国考古学特論 B	(講義)				令和6年度休講
理論考古学研究 A	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
理論考古学研究 B	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
理論考古学特論 A	(講義)				令和6年度休講
理論考古学特論 B	(講義)				令和6年度休講
環境考古学研究 A	(演習)				令和6年度休講
環境考古学研究 B	(演習)				令和6年度休講
環境考古学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(史学・東京都立大学)	工藤雄一郎	
環境考古学特論 B	(講義)	兼任講師		山崎京美	
民族考古学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・法政大学)	佐藤宏之	
民族考古学特論 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・法政大学)	佐藤宏之	
考古学研究 A	(演習)				令和6年度休講
考古学研究 B	(演習)				令和6年度休講
考古学特論 A	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
考古学特論 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	新美倫子	
考古学実習 A	(実習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
考古学実習 B	(実習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
美学研究 A	(演習)				令和6年度休講
美学研究 B	(演習)				令和6年度休講
美学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	三浦篤	
美学特論 B	(講義)	兼任講師	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	三浦篤	
美術史研究 A I	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史研究 B I	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史研究 A II	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史研究 B II	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史特論 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・日本女子大学)	糸和沙	
美術史特論 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・日本女子大学)	糸和沙	
芸術学研究 A	(演習)				令和6年度休講
芸術学研究 B	(演習)				令和6年度休講
芸術学特論 A I	(講義)	兼任講師	博士(史学・学習院大学)	田中潤	
芸術学特論 B I	(講義)	兼任講師	博士(史学・学習院大学)	田中潤	
芸術学特論 A II	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	外山紀久子	
芸術学特論 B II	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	外山紀久子	
比較芸術学研究 A	(演習)				令和6年度休講
比較芸術学研究 B	(演習)				令和6年度休講
比較芸術学特論 A I	(講義)	兼任講師	博士(日本語日本文学・学習院大学)	藤澤茜	
比較芸術学特論 B I	(講義)	兼任講師	博士(日本語日本文学・学習院大学)	藤澤茜	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
比較芸術学特論AⅡ	(講義)	兼任講師		幸福輝	
比較芸術学特論BⅡ	(講義)	兼任講師		幸福輝	
比較芸術学特論AⅢ	(講義)	兼担教授	博士(人間・環境学・京都大学)	岡本源太	
比較芸術学特論BⅢ	(講義)	兼担教授	博士(人間・環境学・京都大学)	岡本源太	
芸術情報論A	(講義)	兼任講師	博士(哲学・学習院大学)	三宅秀和	
芸術情報論B	(講義)	兼任講師	博士(哲学・学習院大学)	三宅秀和	
資料保存展示論研究AⅠ	(演習)	教授		○内川隆志	
資料保存展示論研究BⅠ	(演習)	教授		○内川隆志	
資料保存展示論研究AⅡ	(演習)	教授		○山本哲也	
資料保存展示論研究BⅡ	(演習)	教授		○山本哲也	
地域博物館論研究A	(演習)	教授		○山本哲也	
地域博物館論研究B	(演習)	教授		○山本哲也	
博物館史特論	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・法政大学)	金山喜昭	
博物館学史特論	(講義)	教授		○山本哲也	
欧米博物館史特論	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・法政大学)	金山喜昭	
博物館関係法規特論	(講義)	兼任講師		栗原祐司	
博物館資料論特論AⅠ(民俗)	(講義)	客員教授	博士(民俗学・國學院大學)	○小川直之	
博物館資料論特論BⅠ(金工)	(講義)	兼任講師		井本悠紀	
博物館資料論特論AⅡ(有職)	(講義)	兼任講師		池田宏	
博物館資料論特論BⅡ(考古)	(講義)	兼担教授		池田榮史	
博物館経営特論	(講義)	兼任講師		井上洋一	
博物館教育活動特論	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	駒見和夫	
展示工学特論	(講義)	兼任講師	博士(文学・早稲田大学)	山田磯夫	
博物館学専門実習AⅠ	(実習)	教授		○内川隆志	オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学専門実習BⅠ	(実習)	教授		○内川隆志	オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学専門実習AⅡ	(実習)	教授		○内川隆志	インターンシップ
博物館学専門実習BⅡ	(実習)	教授		○内川隆志	インターンシップ
史学理論特論A	(講義)				令和6年度休講
史学理論特論B	(講義)				令和6年度休講
史料学研究A	(演習)				令和6年度休講
史料学研究B	(演習)				令和6年度休講
史料学特論AⅠ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	榎原雅治	
史料学特論BⅠ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	榎原雅治	
史料学特論AⅡ	(講義)				令和6年度休講
史料学特論BⅡ	(講義)				令和6年度休講
文化人類学研究A	(演習)				令和6年度休講
文化人類学研究B	(演習)				令和6年度休講
文化人類学特論A	(講義)	兼任講師		中西裕二	
文化人類学特論B	(講義)	兼任講師		中西裕二	
文化財学研究A	(演習)				令和6年度休講
文化財学研究B	(演習)				令和6年度休講
文化財学特論A	(講義)	兼任講師	博士(文化史学・同志社大学)	水ノ江和同	
文化財学特論B	(講義)	兼任講師		井上洋一	
社会科教育学研究A	(講義)				令和6年度休講
社会科教育学研究B	(講義)				令和6年度休講
地理科教育学研究A	(講義)				令和6年度休講
地理科教育学研究B	(講義)				令和6年度休講

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
歴史科教育学研究A	(講義)				令和6年度休講
歴史科教育学研究B	(講義)				令和6年度休講
史料管理学A	(講義)	教授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	
史料管理学B	(講義)	教授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	

博士前期(修士)課程〔法学研究科 法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
法哲学研究A	(講義)				令和6年度休講
法哲学研究B	(講義)				令和6年度休講
日本法制史研究A	(講義)	教授	博士(法学・國學院大學)	○長又高夫	
日本法制史研究B	(講義)	教授	博士(法学・國學院大學)	○長又高夫	
日本法制史研究A	(講義)				令和6年度休講
日本法制史研究B	(講義)				令和6年度休講
東洋法制史研究A	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	速水大	
東洋法制史研究B	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	速水大	
西洋法制史研究A	(講義)	兼任講師		吉原達也	
西洋法制史研究B	(講義)	兼任講師		吉原達也	
外国法研究A	(講義)				令和6年度休講
外国法研究B	(講義)	教授		○捧剛	
外国法実践研究	(講義)	教授		○捧剛	
憲法研究A	(講義)	教授		○植村勝慶	
憲法研究B	(講義)				令和6年度休講
憲法実践研究	(講義)	教授		○植村勝慶	
憲法研究A	(講義)	教授	博士(法学・中央大学)	○福岡英明	
憲法研究B	(講義)				令和6年度休講
憲法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・中央大学)	○福岡英明	
憲法研究A	(講義)				令和6年度休講
憲法研究B	(講義)	教授		○平地秀哉	
憲法実践研究	(講義)	教授		○平地秀哉	
行政法研究A	(講義)				令和6年度休講
行政法研究B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○高橋信行	
行政法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○高橋信行	
行政法研究A	(講義)	教授		○川合敏樹	
行政法研究B	(講義)				令和6年度休講
行政法実践研究	(講義)	教授		○川合敏樹	
国際法研究A	(講義)				令和6年度休講
国際法研究B	(講義)	教授		○宮内靖彦	
国際法実践研究	(講義)	教授		○宮内靖彦	
刑法研究A	(講義)				令和6年度休講
刑法研究B	(講義)				令和6年度休講
刑法実践研究	(講義)				令和6年度休講
刑法研究A	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○甘利航司	
刑法研究B	(講義)				令和6年度休講

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
刑法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○甘利航司	
刑事訴訟法研究A	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○中川孝博	
刑事訴訟法研究B	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○中川孝博	
刑事政策研究A	(講義)	兼任准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安田恵美	
刑事政策研究B	(講義)	兼任准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安田恵美	
民法研究A	(講義)				令和6年度休講
民法研究B	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○佐藤秀勝	
民法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○佐藤秀勝	
民法研究A	(講義)				令和6年度休講
民法研究B	(講義)				令和6年度休講
民法研究A	(講義)				令和6年度休講
民法研究B	(講義)	教授		○門広乃里子	
民法実践研究	(講義)	教授		○門広乃里子	
民法研究A	(講義)	兼任准教授		姫野学郎	
民法研究B	(講義)	兼任准教授		姫野学郎	
民法研究A	(講義)	教授	博士(法学・早稲田大学)	○一木孝之	
民法研究B	(講義)				令和6年度休講
民法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・早稲田大学)	○一木孝之	
民法研究A	(講義)	教授		○岡田康夫	
民法研究B	(講義)				令和6年度休講
民法実践研究	(講義)	教授		○岡田康夫	
民事訴訟法研究A	(講義)				令和6年度休講
民事訴訟法研究B	(講義)				令和6年度休講
民事訴訟法研究A	(講義)	兼任准教授		大江毅	
民事訴訟法研究B	(講義)	兼任准教授		大江毅	
商法研究A	(講義)	教授		○鈴木達次	
商法研究B	(講義)				令和6年度休講
商法実践研究	(講義)	教授		○鈴木達次	
商法研究A	(講義)				令和6年度休講
商法研究B	(講義)	教授		○森川隆	
商法研究A	(講義)				令和6年度休講
商法研究B	(講義)	教授		○中曽根玲子	
商法実践研究	(講義)	教授		○中曽根玲子	
労働法研究A	(講義)				令和6年度休講
労働法研究B	(講義)				令和6年度休講
労働法実践研究	(講義)				令和6年度休講
国際私法研究A	(講義)				令和6年度休講
国際私法研究B	(講義)				令和6年度休講
政治学研究A	(講義)				令和6年度休講
政治学研究B	(講義)				令和6年度休講
政治学研究A	(講義)	兼任准教授		宮下大志	
政治学研究B	(講義)	兼任准教授		宮下大志	
政治学研究A	(講義)	兼任講師	博士(法学・東京大学)	上神貴佳	
政治学研究B	(講義)	兼任講師	博士(法学・東京大学)	上神貴佳	
政治学研究A	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤嶋亮	
政治学研究B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤嶋亮	
政治学実践研究	(講義)				令和6年度休講

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
行政学研究A	(講義)	教授	博士(政治学・東京都立大学)	○ 稲垣 浩	
行政学研究B	(講義)	教授	博士(政治学・東京都立大学)	○ 稲垣 浩	
西洋政治史研究A	(講義)				令和6年度休講
西洋政治史研究B	(講義)				令和6年度休講
日本政治史研究A	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○ 坂本 一登	
日本政治史研究B	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○ 坂本 一登	
西洋政治思想史研究A	(講義)	教授		○ 菊田 真司	
西洋政治思想史研究B	(講義)	教授		○ 菊田 真司	
日本政治思想史研究A	(講義)	兼任准教授		小原 薫	
日本政治思想史研究B	(講義)	兼任准教授		小原 薫	
国際関係史研究A	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川嶋 周一	
国際関係史研究B	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川嶋 周一	
国際政治研究A	(講義)				令和6年度休講
国際政治研究B	(講義)				令和6年度休講
公共政策演習A	(演習)				令和6年度休講
公共政策演習B	(演習)	兼任講師		松尾 聖司	
法律学特殊研究A	(演習)	教授		○ 廣瀬 美佳	
法律学特殊研究B	(演習)	教授		○ 廣瀬 美佳	
法律学特殊研究A	(演習)	兼任准教授	博士(法学・関西大学)	山下 祐樹	
法律学特殊研究B	(演習)	兼任准教授	博士(法学・関西大学)	山下 祐樹	
法律学特殊研究A	(演習)	教授		○ 捧 剛	
法律学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
法律学特殊研究A	(演習)	教授	法学博士(國學院大學)	○ 高内 寿夫	
法律学特殊研究B	(演習)	教授	法学博士(國學院大學)	○ 高内 寿夫	
法律学特殊研究A	(演習)	兼任准教授		川村 尚子	
法律学特殊研究B	(演習)	兼任准教授		川村 尚子	
政治学特殊研究A	(演習)	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	羅 芝賢	
政治学特殊研究B	(演習)	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	羅 芝賢	
キャリア・プランニングA	(演習)	兼任講師		萩野 徹	
キャリア・プランニングB	(演習)	兼任講師		前田 順一郎	
研究指導A				専任教授全員	
研究指導B				専任教授全員	
論文指導演習A	(演習)			専任教授全員	
論文指導演習B	(演習)			専任教授全員	

博士前期(修士)課程〔経済学研究科 経済学専攻〕

注1) 各コース共通：1年次前期に「研究方法と倫理」を履修すること、それぞれ当該の列に★印を付した授業科目の中から12単位以上を履修すること、1年次は「研究指導」、2年次は「論文指導演習」を履修すること。

注2) キャリアコース：1年次後期に「税務特講」を履修すること。

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	アカデミック コース	キャリア コース	備考
理論経済学特論AⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・一橋大学)	細 谷 圭	★	★	アカデミックコース 選択必修
理論経済学特論BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・一橋大学)	細 谷 圭	★	★	
理論経済学特論AⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
理論経済学特論BⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
経済学史特論AⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
経済学史特論BⅠ	(講義)	教 授		尾 近 裕 幸	★		
貨幣金融特論AⅠ	(講義)				★	★	令和6年度休講
貨幣金融特論BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	木 村 秀 史	★	★	
貨幣金融特論AⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
貨幣金融特論BⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
財政学特論AⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・中央大学)	櫻 井 潤	★	★	
財政学特論BⅠ	(講義)				★	★	令和6年度休講
財政学特論AⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
財政学特論BⅡ	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	根 岸 毅 宏	★	★	
経済政策特論AⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
経済政策特論BⅠ	(講義)	教 授		橋 元 秀 一	★		
経済政策特論AⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
経済政策特論BⅡ	(講義)	教 授		林 行 成	★		
経済政策特論AⅢ	(講義)				★		令和6年度休講
経済政策特論BⅢ	(講義)				★		令和6年度休講
経済政策特論AⅣ	(講義)	教 授	博士(理学・東北大学)	山 本 健 太	★		
経済政策特論BⅣ	(講義)				★		令和6年度休講
国際経済特論AⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
国際経済特論BⅠ	(講義)	教 授		高 橋 克 秀	★		
国際経済特論AⅡ	(講義)	教 授		中 馬 祥 子	★		
国際経済特論BⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
国際経済特論AⅢ	(講義)				★		令和6年度休講
国際経済特論BⅢ	(講義)	教 授	博士(経営学・立命館大学)	細 井 長	★		
社会政策特論AⅠ	(講義)	教 授		水無田 気 流	★		
社会政策特論BⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
社会政策特論AⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
社会政策特論BⅡ	(講義)	教 授		中 泉 真 樹	★		
社会政策特論AⅢ	(講義)				★		令和6年度休講
社会政策特論BⅢ	(講義)	教 授	文学博士(社会学・上智大学)	小木曾 道 夫	★		
社会政策特論AⅣ	(講義)	教 授	博士(学術・東京大学)	田 原 裕 子	★		
社会政策特論BⅣ	(講義)				★		令和6年度休講
社会政策特論AⅤ	(講義)				★		令和6年度休講
社会政策特論BⅤ	(講義)	教 授	博士(経済学・大阪市立大学)	大 西 祥 恵	★		
統計学特論A	(講義)	准 教 授		高 木 康 順	★	★	アカデミックコース 選択必修
統計学特論B	(講義)				★		令和6年度休講
経済史特論AⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
経済史特論BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・東京大学)	杉 山 里 枝	★		

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	アカデミック コース	キャリア コース	備考
経済史特論AⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
経済史特論BⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
計量経済学特論A	(講義)				★		令和6年度休講
計量経済学特論B	(講義)	准 教 授		高 木 康 順	★		
経営学特論AⅠ	(講義)	教 授	博士(経営学・東北大学)	星 野 広 和	★	★	アカデミックコース 選択必修
経営学特論BⅠ	(講義)				★	★	令和6年度休講
経営学特論AⅡ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論BⅡ	(講義)	教 授	博士(経営学・東北大学)	星 野 広 和	★		
経営学特論AⅢ	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	小 野 正 人	★		
経営学特論BⅢ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論AⅣ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論BⅣ	(講義)	教 授		野 村 一 夫	★		
経営学特論AⅤ	(講義)	准 教 授		藤 山 圭	★		
経営学特論BⅤ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論AⅥ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論BⅥ	(講義)				★		令和6年度休講
経営学特論AⅧ	(講義)	教 授	博士(学術・東京大学)	手 塚 貞 治	★		
経営学特論BⅧ	(講義)				★		令和6年度休講
会計学特論AⅠ	(講義)				★		令和6年度休講
会計学特論BⅠ	(講義)	准 教 授		東海林 孝 一	★	★	
会計学特論AⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
会計学特論BⅡ	(講義)				★	★	令和6年度休講
会計学特論AⅢ	(講義)				★	★	令和6年度休講
会計学特論BⅢ	(講義)	准 教 授		中 田 有 祐	★	★	
経営史特論A	(講義)				★		令和6年度休講
経営史特論B	(講義)				★		令和6年度休講
税務特論AⅠ	(講義)	教 授		佐 藤 謙 一		★	
税務特論BⅠ	(講義)	教 授		佐 藤 謙 一		★	
税務特論AⅡ	(講義)	客員教授		木 上 律 子		★	
税務特論BⅡ	(講義)	客員教授		木 上 律 子		★	
税務特論AⅢ	(講義)	客員教授		田 内 彦一郎		★	
税務特論BⅢ	(講義)	客員教授		田 内 彦一郎		★	
税務特論AⅣ	(講義)	教 授		原 省 三		★	
税務特論BⅣ	(講義)	教 授		原 省 三		★	
税法総論A	(講義)					★	令和6年度休講
税法総論B	(講義)					★	令和6年度休講
税 務 特 講	(講義)	客員教授		木 上 律 子		★	コース 必修
研究方法と倫理Ⅰ	(講義)	教 授	博士(経済学・東京大学)	杉 山 里 枝	必修		
研究方法と倫理Ⅱ	(講義)	教 授		佐 藤 謙 一		必修	
論文指導演習A	(演習)			専任教員全員			1、2年次
論文指導演習B	(演習)			専任教員全員			1、2年次

1) 実際に指導可能な教員の一覧は、下記本学ホームページでの情報が最新かつ正確なものとなりますので、そちらをご覧ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/p1-1-1-2>

2) 客員教授、兼任講師の教員は指導教員になることができません。



博士後期(博士)課程〔文学研究科 神道学・宗教学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
神道神学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	
神道神学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	
神道神学特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
神道神学特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
神道史特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○加瀬直弥	
神道史特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○加瀬直弥	
神道史特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	
神道史特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	
神社史特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
神社史特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
神社史特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○藤本頼生	
神社史特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○藤本頼生	
神道古典特殊研究A	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○松本久史	
神道古典特殊研究B	(演習) 教	授	博士(神道学・國學院大學)	○松本久史	
宗教学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	
宗教学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	
宗教学特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
宗教学特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
宗教社会学特殊研究AⅠ	(演習)				令和6年度休講
宗教社会学特殊研究BⅠ	(演習)				令和6年度休講
宗教社会学特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	
宗教社会学特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	
宗教行政特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
宗教行政特殊研究B	(演習)				令和6年度休講

博士後期(博士)課程〔文学研究科 文学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本上代文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○土佐秀里	
日本上代文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○土佐秀里	
日本上代文学特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○谷口雅博	
日本上代文学特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○谷口雅博	
日本中古文学特殊研究AⅠ	(演習)				令和6年度休講
日本中古文学特殊研究BⅠ	(演習)				令和6年度休講
日本中古文学特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○竹内正彦	
日本中古文学特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○竹内正彦	
日本中世文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・早稲田大学)	○野中哲照	
日本中世文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・早稲田大学)	○野中哲照	
日本近世文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○岩崎雅彦	
日本近世文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○岩崎雅彦	
日本近現代文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○石川則夫	
日本近現代文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○石川則夫	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本近現代文学特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
日本近現代文学特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
日本古代語特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○小田 勝	
日本古代語特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○小田 勝	
日本古代語特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○吉田 永弘	
日本古代語特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○吉田 永弘	
日本近代語特殊研究A	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本近代語特殊研究B	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本現代語特殊研究A	(演習) 教	授	博士(文学・東北大学)	○三井 はるみ	
日本現代語特殊研究B	(演習) 教	授	博士(文学・東北大学)	○三井 はるみ	
中国文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授		○石本 道明	
中国文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授		○石本 道明	
中国文学特殊研究AⅡ	(演習) 教	授		○澤崎 久和	
中国文学特殊研究BⅡ	(演習) 教	授		○澤崎 久和	
中国文学特殊研究AⅢ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○浅野 春二	
中国文学特殊研究BⅢ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○浅野 春二	
中国文学特殊研究AⅣ	(演習) 教	授		○宮内 克浩	
中国文学特殊研究BⅣ	(演習) 教	授		○宮内 克浩	
伝承文学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○飯倉 義之	
伝承文学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○飯倉 義之	
伝承文学特殊研究AⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○伊藤 龍平	
伝承文学特殊研究BⅡ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○伊藤 龍平	
伝統芸能特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
伝統芸能特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
民俗学特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(民俗学・國學院大學)	○服部 比呂美	
民俗学特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(民俗学・國學院大學)	○服部 比呂美	
民俗学特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
民俗学特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
民俗学特殊研究AⅢ	(演習)				令和6年度休講
民俗学特殊研究BⅢ	(演習)				令和6年度休講
国語教育実践特殊研究AⅠ	(演習) 教	授		○高山 実佐	
国語教育実践特殊研究BⅠ	(演習) 教	授		○高山 実佐	
国語教育実践特殊研究AⅡ	(演習) 教	授		○齋藤 智哉	
国語教育実践特殊研究BⅡ	(演習) 教	授		○齋藤 智哉	
日本語教育特殊研究AⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本語教育特殊研究BⅠ	(演習) 教	授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本語教育特殊研究AⅡ	(演習) 教	授		○菊地 康人	
日本語教育特殊研究BⅡ	(演習) 教	授		○菊地 康人	

博士後期(博士)課程〔文学研究科 史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本古代史特殊研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史特殊研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
日本古代史特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
日本中世史特殊研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史特殊研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史特殊研究AⅡ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史特殊研究BⅡ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本近世史特殊研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史特殊研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史特殊研究AⅡ	(演習)	教 授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	
日本近世史特殊研究BⅡ	(演習)	教 授	博士(史学・中央大学)	○岩橋清美	
日本近現代史特殊研究AⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○樋口秀実	
日本近現代史特殊研究BⅠ	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○樋口秀実	
日本近現代史特殊研究AⅡ	(演習)	准 教 授		○多和田真理子	
日本近現代史特殊研究BⅡ	(演習)	准 教 授		○多和田真理子	
宗教史料学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
宗教史料学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
歴史地理学特殊研究A	(演習)	教 授		○吉田敏弘	
歴史地理学特殊研究B	(演習)	教 授		○吉田敏弘	
比較地誌学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
比較地誌学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
地 図 学 特 殊 研 究 A	(演習)	教 授		○吉田敏弘	
地 図 学 特 殊 研 究 B	(演習)	教 授		○吉田敏弘	
東洋史特殊研究AⅠ	(演習)	准 教 授	博士(史学・明治大学)	○江川式部	
東洋史特殊研究BⅠ	(演習)	准 教 授	博士(史学・明治大学)	○江川式部	
東洋史特殊研究AⅡ	(演習)				令和6年度休講
東洋史特殊研究BⅡ	(演習)				令和6年度休講
東アジア史特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
東アジア史特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
西洋史特殊研究AⅠ	(演習)				令和6年度休講
西洋史特殊研究BⅠ	(演習)				令和6年度休講
西洋史特殊研究AⅡ	(演習)	教 授		○大久保桂子	
西洋史特殊研究BⅡ	(演習)	教 授		○大久保桂子	
比較文化史特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
比較文化史特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
日本考古学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
日本考古学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
先史考古学特殊研究A	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
先史考古学特殊研究B	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
歴史考古学特殊研究A	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特殊研究B	(演習)	教 授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
外国考古学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
外国考古学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
考古学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
考古学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
美学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
美学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
美術史特殊研究AⅠ	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史特殊研究BⅠ	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史特殊研究AⅡ	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史特殊研究BⅡ	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
比較芸術学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
比較芸術学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
芸術学特殊研究A	(演習)				令和6年度休講
芸術学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
資料保存展示論特殊研究AⅠ	(演習)	教授		○内川隆志	
資料保存展示論特殊研究BⅠ	(演習)	教授		○内川隆志	
資料保存展示論特殊研究AⅡ	(演習)	教授		○山本哲也	
資料保存展示論特殊研究BⅡ	(演習)	教授		○山本哲也	
地域博物館論特殊研究A	(演習)	教授		○山本哲也	
地域博物館論特殊研究B	(演習)	教授		○山本哲也	
博物館学特殊実習AⅠ	(実習)	教授		○内川隆志	オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学特殊実習BⅠ	(実習)	教授		○内川隆志	オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学特殊実習AⅡ	(実習)	教授		○内川隆志	インターンシップ
博物館学特殊実習BⅡ	(実習)	教授		○内川隆志	インターンシップ

博士後期(博士)課程〔法学研究科 法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和6年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
法 哲 学 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
法 哲 学 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
日 本 法 制 史 研 究 A	(講義) 教 授	博士(法学・國學院大學)	○長 又 高 夫		
日 本 法 制 史 研 究 B	(講義) 教 授	博士(法学・國學院大學)	○長 又 高 夫		
日 本 法 制 史 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
日 本 法 制 史 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
東 洋 法 制 史 研 究 A	(講義) 兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)	速 水 大		
東 洋 法 制 史 研 究 B	(講義) 兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)	速 水 大		
西 洋 法 制 史 研 究 A	(講義) 兼 任 講 師		吉 原 達 也		
西 洋 法 制 史 研 究 B	(講義) 兼 任 講 師		吉 原 達 也		
外 国 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
外 国 法 研 究 B	(講義) 教 授		○捧 剛		
外 国 法 実 践 研 究	(講義) 教 授		○捧 剛		
憲 法 研 究 A	(講義) 教 授		○植 村 勝 慶		
憲 法 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
憲 法 実 践 研 究	(講義) 教 授		○植 村 勝 慶		
憲 法 研 究 A	(講義) 教 授	博士(法学・中央大学)	○福 岡 英 明		
憲 法 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
憲 法 実 践 研 究	(講義) 教 授	博士(法学・中央大学)	○福 岡 英 明		
憲 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
憲 法 研 究 B	(講義) 教 授		○平 地 秀 哉		
憲 法 実 践 研 究	(講義) 教 授		○平 地 秀 哉		
行 政 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
行 政 法 研 究 B	(講義) 教 授	博士(法学・東京大学)	○高 橋 信 行		
行 政 法 実 践 研 究	(講義) 教 授	博士(法学・東京大学)	○高 橋 信 行		
行 政 法 研 究 A	(講義) 教 授		○川 合 敏 樹		
行 政 法 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
行 政 法 実 践 研 究	(講義) 教 授		○川 合 敏 樹		
国 際 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
国 際 法 研 究 B	(講義) 教 授		○宮 内 靖 彦		
国 際 法 実 践 研 究	(講義) 教 授		○宮 内 靖 彦		
刑 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
刑 法 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
刑 法 実 践 研 究	(講義)				令和6年度休講
刑 法 研 究 A	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○甘 利 航 司		
刑 法 研 究 B	(講義)				令和6年度休講
刑 法 実 践 研 究	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○甘 利 航 司		
刑 事 訴 訟 法 研 究 A	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○中 川 孝 博		
刑 事 訴 訟 法 研 究 B	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○中 川 孝 博		
刑 事 政 策 研 究 A	(講義) 兼担准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安 田 恵 美		
刑 事 政 策 研 究 B	(講義) 兼担准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安 田 恵 美		
民 法 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
民 法 研 究 B	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○佐 藤 秀 勝		
民 法 実 践 研 究	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)	○佐 藤 秀 勝		

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
民法研究 A	(講義)				令和6年度休講
民法研究 B	(講義)				令和6年度休講
民法研究 A	(講義)				令和6年度休講
民法研究 B	(講義)	教 授		○ 門 広 乃里子	
民法実践研究	(講義)	教 授		○ 門 広 乃里子	
民法研究 A	(講義)	兼担准教授		姫 野 学 郎	
民法研究 B	(講義)	兼担准教授		姫 野 学 郎	
民法研究 A	(講義)	教 授 博士(法学・早稲田大学)		○ 一 木 孝 之	
民法研究 B	(講義)				令和6年度休講
民法実践研究	(講義)	教 授 博士(法学・早稲田大学)		○ 一 木 孝 之	
民法研究 A	(講義)	教 授		○ 岡 田 康 夫	
民法研究 B	(講義)				令和6年度休講
民法実践研究	(講義)	教 授		○ 岡 田 康 夫	
民事訴訟法研究 A	(講義)				令和6年度休講
民事訴訟法研究 B	(講義)				令和6年度休講
民事訴訟法研究 A	(講義)	兼担准教授		大 江 毅	
民事訴訟法研究 B	(講義)	兼担准教授		大 江 毅	
商法研究 A	(講義)	教 授		○ 鈴 木 達 次	
商法研究 B	(講義)				令和6年度休講
商法実践研究	(講義)	教 授		○ 鈴 木 達 次	
商法研究 A	(講義)				令和6年度休講
商法研究 B	(講義)	教 授		○ 森 川 隆	
商法研究 A	(講義)				令和6年度休講
商法研究 B	(講義)	教 授		○ 中曾根 玲 子	
商法実践研究	(講義)	教 授		○ 中曾根 玲 子	
労働法研究 A	(講義)				令和6年度休講
労働法研究 B	(講義)				令和6年度休講
労働法実践研究	(講義)				令和6年度休講
国際私法研究 A	(講義)				令和6年度休講
国際私法研究 B	(講義)				令和6年度休講
政治学研究 A	(講義)				令和6年度休講
政治学研究 B	(講義)				令和6年度休講
政治学研究 A	(講義)	兼担准教授		宮 下 大 志	
政治学研究 B	(講義)	兼担准教授		宮 下 大 志	
政治学研究 A	(講義)	兼 任 講 師 博士(法学・東京大学)		上 神 貴 佳	
政治学研究 B	(講義)	兼 任 講 師 博士(法学・東京大学)		上 神 貴 佳	
政治学研究 A	(講義)	教 授 博士(法学・東京大学)		○ 藤 嶋 亮	
政治学研究 B	(講義)	教 授 博士(法学・東京大学)		○ 藤 嶋 亮	
行政学研究 A	(講義)	教 授 博士(政治学・東京都立大学)		○ 稲 垣 浩	
行政学研究 B	(講義)	教 授 博士(政治学・東京都立大学)		○ 稲 垣 浩	
西洋政治史研究 A	(講義)				令和6年度休講
西洋政治史研究 B	(講義)				令和6年度休講
日本政治史研究 A	(講義)	教 授 法学博士(東京都立大学)		○ 坂 本 一 登	
日本政治史研究 B	(講義)	教 授 法学博士(東京都立大学)		○ 坂 本 一 登	
西洋政治思想史研究 A	(講義)	教 授		○ 菊 田 真 司	
西洋政治思想史研究 B	(講義)	教 授		○ 菊 田 真 司	

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本政治思想史研究A	(講義)	兼担准教授		小 原 薫	
日本政治思想史研究B	(講義)	兼担准教授		小 原 薫	
国際関係史研究A	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川 嶋 周 一	
国際関係史研究B	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川 嶋 周 一	
国際政治研究A	(講義)				令和6年度休講
国際政治研究B	(講義)				令和6年度休講
公共政策演習A	(演習)				令和6年度休講
公共政策演習B	(演習)	兼任講師		松 尾 聖 司	
法律学特殊研究A	(演習)	教 授		○廣 瀬 美 佳	
法律学特殊研究B	(演習)	教 授		○廣 瀬 美 佳	
法律学特殊研究A	(演習)	兼担准教授	博士(法学・関西大学)	山 下 祐 樹	
法律学特殊研究B	(演習)	兼担准教授	博士(法学・関西大学)	山 下 祐 樹	
法律学特殊研究A	(演習)	教 授		○ 捧 剛	
法律学特殊研究B	(演習)				令和6年度休講
法律学特殊研究A	(演習)	教 授	法学博士(國學院大學)	○高 内 寿 夫	
法律学特殊研究B	(演習)	教 授	法学博士(國學院大學)	○高 内 寿 夫	
法律学特殊研究A	(演習)	兼担准教授		川 村 尚 子	
法律学特殊研究B	(演習)	兼担准教授		川 村 尚 子	
政治学特殊研究A	(演習)	兼担准教授	博士(法学・東京大学)	羅 芝 賢	
政治学特殊研究B	(演習)	兼担准教授	博士(法学・東京大学)	羅 芝 賢	
キャリア・プランニングA	(演習)	兼任講師		荻 野 徹	
キャリア・プランニングB	(演習)	兼任講師		前 田 順一郎	

博士後期(博士)課程〔経済学研究科 経済学専攻〕

令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
理論経済学研究AⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・一橋大学)	細 谷 圭	
理論経済学研究BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・一橋大学)	細 谷 圭	
理論経済学研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
理論経済学研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講
経済学史研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
経済学史研究BⅠ	(講義)	教 授		尾 近 裕 幸	
貨幣金融研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
貨幣金融研究BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	木 村 秀 史	
貨幣金融研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
貨幣金融研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講
財政学研究AⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・中央大学)	櫻 井 潤	
財政学研究BⅠ	(講義)				令和6年度休講
財政学研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
財政学研究BⅡ	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	根 岸 毅 宏	
経済政策研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
経済政策研究BⅠ	(講義)	教 授		橋 元 秀 一	
経済政策研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
経済政策研究BⅡ	(講義)	教 授		林 行 成	
経済政策研究AⅢ	(講義)				令和6年度休講
経済政策研究BⅢ	(講義)				令和6年度休講
経済政策研究AⅣ	(講義)	教 授	博士(理学・東北大学)	山 本 健 太	
経済政策研究BⅣ	(講義)				令和6年度休講
国際経済研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
国際経済研究BⅠ	(講義)	教 授		高 橋 克 秀	
国際経済研究AⅡ	(講義)	教 授		中 馬 祥 子	
国際経済研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講
国際経済研究AⅢ	(講義)				令和6年度休講
国際経済研究BⅢ	(講義)	教 授	博士(経営学・立命館大学)	細 井 長	
社会政策研究AⅠ	(講義)	教 授		水無田 気 流	
社会政策研究BⅠ	(講義)				令和6年度休講
社会政策研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
社会政策研究BⅡ	(講義)	教 授		中 泉 真 樹	
社会政策研究AⅢ	(講義)				令和6年度休講
社会政策研究BⅢ	(講義)	教 授	文学博士(社会学・上智大学)	小木曾 道 夫	
社会政策研究AⅣ	(講義)	教 授	博士(学術・東京大学)	田 原 裕 子	
社会政策研究BⅣ	(講義)				令和6年度休講
社会政策研究AⅤ	(講義)				令和6年度休講
社会政策研究BⅤ	(講義)	教 授	博士(経済学・大阪市立大学)	大 西 祥 恵	
統計学研究A	(講義)	准 教 授		高 木 康 順	
統計学研究B	(講義)				令和6年度休講
経済史研究AⅠ	(講義)				令和6年度休講
経済史研究BⅠ	(講義)	教 授	博士(経済学・東京大学)	杉 山 里 枝	
経済史研究AⅡ	(講義)				令和6年度休講
経済史研究BⅡ	(講義)				令和6年度休講

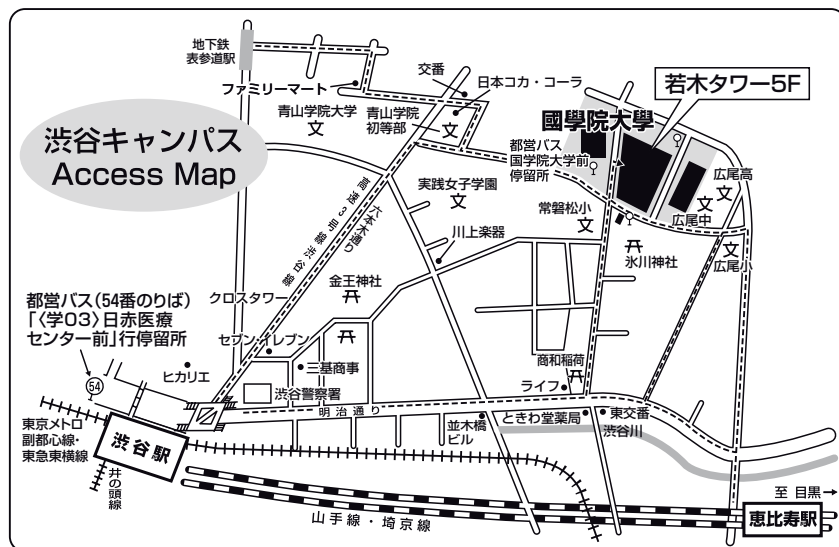
令和6年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
計 量 経 済 学 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
計 量 経 済 学 研 究 B	(講義)	准 教 授		高 木 康 順	
経 営 学 研 究 A I	(講義)	教 授	博士(経営学・東北大学)	星 野 広 和	
経 営 学 研 究 B I	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 A II	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 B II	(講義)	教 授	博士(経営学・東北大学)	星 野 広 和	
経 営 学 研 究 A III	(講義)	教 授	博士(経済学・國學院大學)	小 野 正 人	
経 営 学 研 究 B III	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 A IV	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 B IV	(講義)	教 授		野 村 一 夫	
経 営 学 研 究 A V	(講義)	准 教 授		藤 山 圭	
経 営 学 研 究 B V	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 A VI	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 B VI	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 A VII	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 B VII	(講義)				令和6年度休講
経 営 学 研 究 A VIII	(講義)	教 授	博士(学術・東京大学)	手 塚 貞 治	
経 営 学 研 究 B VIII	(講義)				令和6年度休講
会 計 学 研 究 A I	(講義)				令和6年度休講
会 計 学 研 究 B I	(講義)	准 教 授		東海林 孝 一	
会 計 学 研 究 A II	(講義)				令和6年度休講
会 計 学 研 究 B II	(講義)				令和6年度休講
会 計 学 研 究 A III	(講義)				令和6年度休講
会 計 学 研 究 B III	(講義)	准 教 授		中 田 有 祐	
経 営 史 研 究 A	(講義)				令和6年度休講
経 営 史 研 究 B	(講義)				令和6年度休講

1) 実際に指導可能な教員の一覧は、下記本学ホームページでの情報が最新かつ正確なものとなりますので、そちらをご覧ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/pl-1-1-2>

2) 客員教授、兼任講師の教員は指導教員になることができません。





〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

国學院大学 大学院事務課

電話 03(5466)0142(直通)

daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/graduate/>

